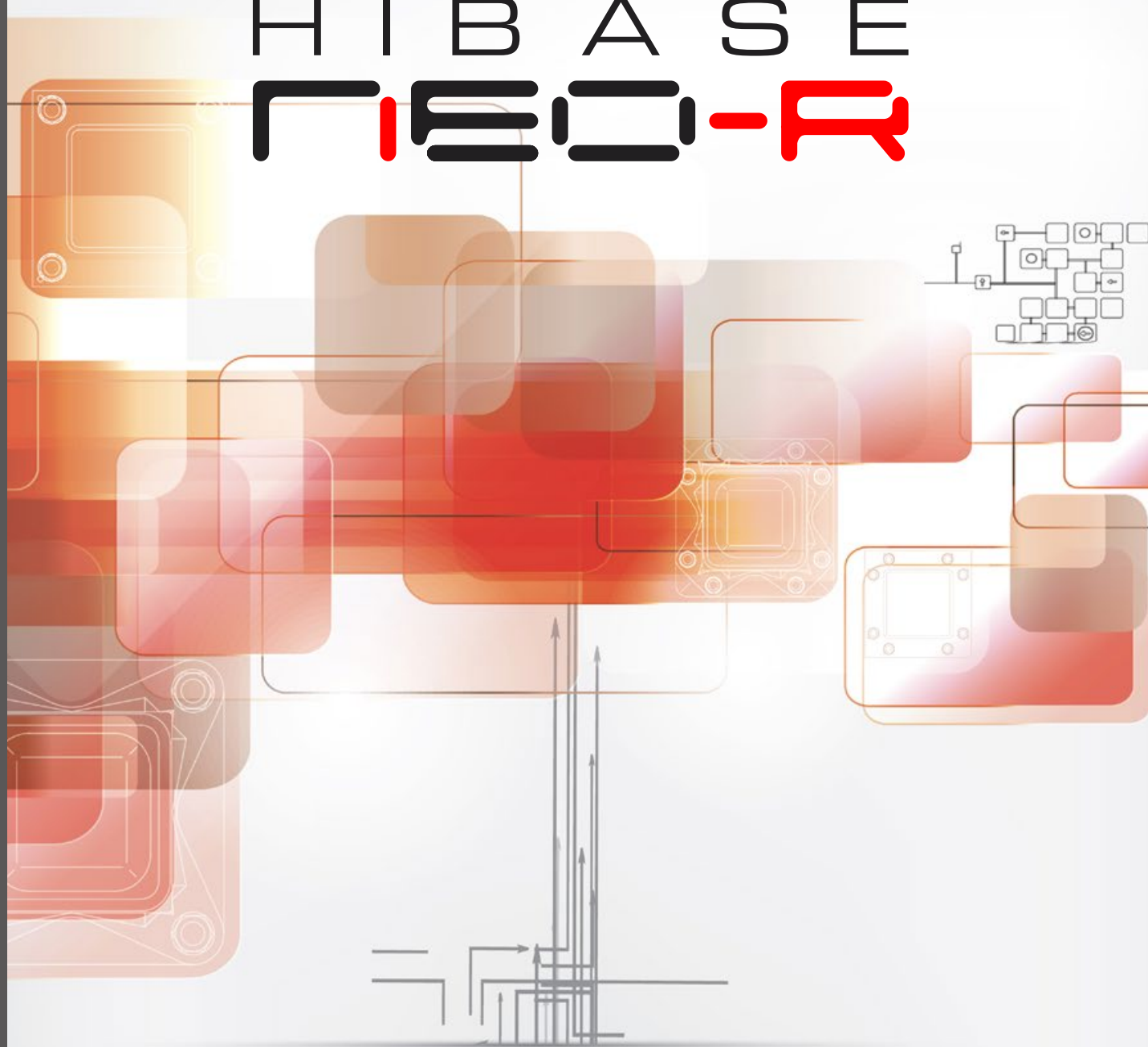


ハイベースNEO-R工法 カタログ



H I B A S E NEO-R



センクシア株式会社

H I B A S E NEO-R

ハイベースNEO-R工法カタログ

露出型柱脚のパイオニアであるセンクシアの
「ハイベース工法」をリファイン
半世紀を超えるベストセラー製品が、より一層、
性能、設計自由度、施工性が向上しました。

1

せん断耐力の向上

ベースプレートの特殊底面形状を変更^(*)し、
応力伝達機構を改良したことで、
せん断耐力がより向上しました。
※対象：EBX型式、EMX型式

2

1階Ds割増不要の適用範囲拡大

H形柱タイプもDs割増不要と
することが可能になりました。
※強軸方向のみ、弱軸方向はDs割増必要

3

柱型配筋量の最適化

従来の配筋ゾーンを改良、
新たに3つのゾーン(I,II,III)に再構成し、
配筋量の最適化を実現しました。

4

コンクリート設計基準強度 30N/mm²まで耐力算定が可能に

耐力算定の上限を従来の
コンクリート設計基準強度24N/mm²から
30N/mm²まで拡大しました。

5

型式ラインナップの拡充

より幅広い設計に対応するために、
型式を追加ラインナップ。
設計の選択肢が拡がりました。

6

施工性の向上

基礎配筋との干渉を減らすため
一部の大口径アンカーボルトの
固定用具を標準化しました。

ハイベースNEO-R工法

INDEX

ハイベースNEO-R工法の概要	02
ハイベースNEO-R工法の特長	03
ハイベースNEO-R工法の構成・規格	07
ハイベースNEO-R工法の寸法一覧	08
ハイベースNEO-R工法のアンカーボルト・部品	16
ハイベースNEO-R工法の設計	19
ハイベースNEO-R工法の設計支援資料	23
ハイベースNEO-R工法の施工	24
ハイベースNEO-R工法のベースプレート下面モルタル・工場加工	26
(一財)日本建築センター評定書・国土交通大臣認定書	28
その他柱脚製品の紹介	29

■ ハイベースNEO-R工法ご使用にあたって

このカタログは、設計事務所様、施工会社様、鉄骨加工業者様において、ハイベースNEO-R工法を用いた建築物を設計される際および施工・監理をされる際に、安全かつ効果的にご使用いただくためのものです。なお、別冊の“設計ハンドブック”をご用意していますので、設計時には本カタログとあわせてご参照くださるようお願いいたします。

■ 設計事務所様へ

ハイベースNEO-R工法を用いた建築物の設計図書には別刷りの“設計施工標準”を添付のうえ、その資料をもとに監理くださいますようお願いいたします。

■ 表示の定義

このカタログの中で特に注意していただきたい事項については、以下の警告表示を記載しております。

- ⚠ 注意：一般的な注意を喚起する表示
- ⚠ 警告：取扱いを誤った場合に、人が死亡または重傷を負う危険な状態が生じる事が想定される場合の表示

⚠ 警告

- ①ハイベースNEO-R工法は国土交通大臣認定取得材料を用いた、(一財)日本建築センター評定取得工法です。本カタログに基づく設計がなされないために生じたトラブルについては責任を負いかねます。ご使用になる前に必ず本カタログをご一読の上、内容を遵守して下さい。
- ②アンカーボルトの設置工事、後詰めモルタルの施工はセンクシアの認定施工業者が行います。認定外業者が施工した場合、台風や地震などにより過大な力が作用した際に、柱脚部に想定しない破壊が生じて建築物が崩壊するおそれがあります。

⚠ 注意

- ハイベースNEO-R工法はこのカタログの他、下記の資料によって設計・施工を行ってください。
- ・設計ハンドブック(A4版冊子)
 - ・設計施工標準図(設計図書用)
 - ・構造計算支援ソフト:センクシア柱脚検討ソフト(Windows版)
 - ・設計支援ソフト:CADソフト(DWG-MPZ-JWC-DXF形式)
 - ・施工マニュアル
 - ・アンカーボルト標準設置図
- 各資料は予告なく変更することがあります。最新版は弊社Webサイトに掲載しておりますのでご確認ください。
- 施工会社様の現場施工管理者への重要なお知らせ**
ハイベースNEO-R工法の施工は施工会社様・鉄骨加工業者様とセンクシアの認定施工業者が共同で行う工事です。工事の実施にあたり、特に次の点をご確認ください。
- アンカーボルト設置の際、「アンカーボルトの位置(据え付け芯・高さ)の指示」および「据え付け後の精度確認」は施工会社様の現場施工管理者が必ず行ってください。ハイベース施工者は、その指示に従うものとします。
 - アンカーボルト設置工事と、後詰めモルタルの現場施工は、**センクシアの認定施工業者**が行います。なお、H形柱用の(GHX型式)と偏心タイプ(BSX,BCX型式)はアンカーボルトの本締め作業も行います。

ハイベース NEO-R 工法の概要

ハイベースNEO-R工法

ハイベース工法は半世紀を超える販売実績を有する露出型柱脚工法です。センクシアでは、多様化するユーザーのニーズに応えるために研究・開発を重ね、ハイベース工法を「ハイベース NEO-R 工法」にリファインしました。

ハイベース NEO-R 工法では、材料に関する国土交通大臣認定と工法に関する日本建築センター評定を取得しています。また、アンカーボルト設置、無収縮モルタル充填等の施工をセンクシアの認定施工業者が行うことにより、柱脚の品質と構造性能の信頼性を高めています。



ハイベース NEO-R 工法 (Gタイプ) イメージ

適用範囲

ハイベースNEO-R

適用柱	□150	□175	□200	□250	□300	□350	□400	□450	□500	□550	□600	□650	□700	□750	□800	□850	□900	□950	□1000	□1050	□1100	□1150	□1200	
角形鋼管柱	エコタイプ (EBX型式)											Gタイプ (GBX型式)												
	エコタイプ (鋼板製ベースプレート)											Gタイプ (鋳鋼製ベースプレート)												
円形鋼管柱	エコタイプ (EMX型式)											Gタイプ (GMX型式)												
	エコタイプ (鋼板製ベースプレート)											Gタイプ (鋳鋼製ベースプレート)												
H150 × 150 シリーズ～H900 × 400 シリーズ (※)																								
H形柱	エコタイプ (EHX型式)											Gタイプ (GHX型式)												
	エコタイプ (鋼板製ベースプレート)											Gタイプ (鋳鋼製ベースプレート)												

※ H形柱の適用柱は P12～13 をご参照ください

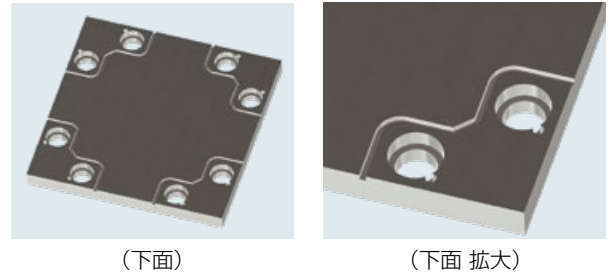
適用柱	□150	□175	□200	□250	□300	□350	□400	□450	□500	□550	□600	□650	□700	□750	□800	□850	□900	□950	□1000	□1050	□1100	□1150	□1200	
角形鋼管柱 (一方偏心タイプ)	一方偏心タイプ (BSX型式)														一方偏心タイプ									
角形鋼管柱 (二方向偏心タイプ)	二方向偏心タイプ (BCX型式)														二方向偏心タイプ									

ハイベース NEO-R 工法の特長

1. せん断耐力の向上

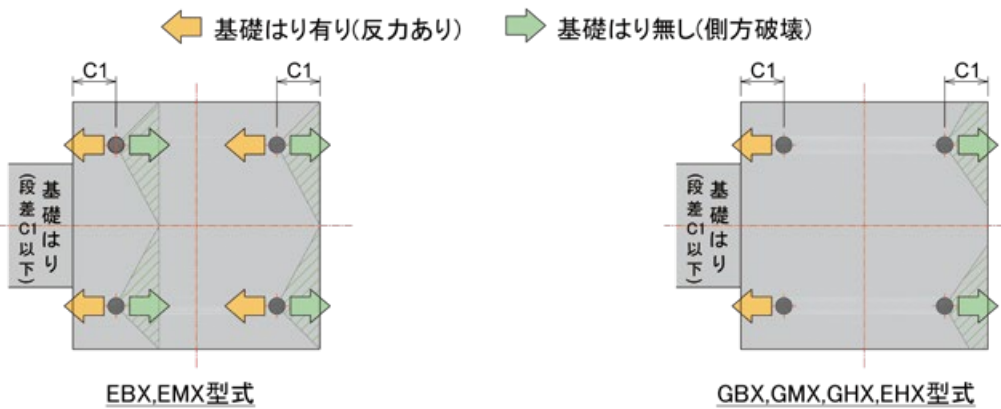
ベースプレートの特異底面形状を変更し、応力伝達機構を改良したことで、せん断耐力がより向上されました。

※対象：EBX、EMX 型式



基礎はりにより柱形が拘束されている場合、より高いせん断耐力が期待できるようになりました。

※対象：EBX、EMX、GBX、GMX、EHX、GHX 全型式



2.1 階Ds割増不要の適用範囲拡大

H 形柱用のベースプレートの設計法を改良することにより、H 形柱用 (EHX, GHX 型式) も 1 階 Ds 割増を不要^(※)とすることが可能になりました。(※強軸方向のみ、弱軸方向は Ds 割増必要)

* 1 階の保有水平耐力が必要保有水平耐力の 1.1 倍以上であることをご確認ください。

* 1 階の Ds 割増が不要となるのは純ラーメン構造の場合に限ります。

* 角形鋼管柱用偏心タイプ (BSX・BCX 型式)、ブレース構造は 1 階 Ds の割増が必要です。

表 1. ハイベース NEO-R 工法 構造別保有水平耐力の確認方法

建築物の構造	柱形状	型式	ベースプレート方向	P20 設計フロー ^{⑩'} 保有水平耐力の確認方法	
				右記以外	柱及びはりの部材群としての種別がDの場合
純ラーメン構造	角形鋼管柱	EBX、GBX	—	1 階 Ds の割増不要 $Q_u \geq 1.1 \times Q_{un}$	1 階 Ds の割増不要 $Q_u \geq Q_{un}$
	円形鋼管柱	EMX、GMX	—		
	H 形柱	EHX、GHX	強軸方向	1 階 Ds を 0.05 割増 $Q_u \geq Q_{un}$	
			弱軸方向		
ブレース構造	角形鋼管柱	BCX、BSX	—	1 階 Ds を 0.05 割増 $Q_u \geq Q_{un}$	
	角形鋼管柱	EBX、GBX	—		
	円形鋼管柱	EMX、GMX	—		
	H 形柱	EHX、GHX	強軸方向		
			弱軸方向		
角形鋼管柱	BCX、BSX	—			

※ Q_u : 1 階の保有水平耐力、 Q_{un} : 1 階の必要保有水平耐力



注意

1 階Dsの割増が必要な柱脚 (EHX弱軸、GHX弱軸、BSX、BCX型式、在来柱脚等) と、1 階Dsの割増が不要な柱脚 (EBX、GBX、EMX、GMX型式、EHX強軸、GHX強軸) が同一層かつ同一加力方向に混在する場合は、1 階Dsを0.05割増する必要があります。

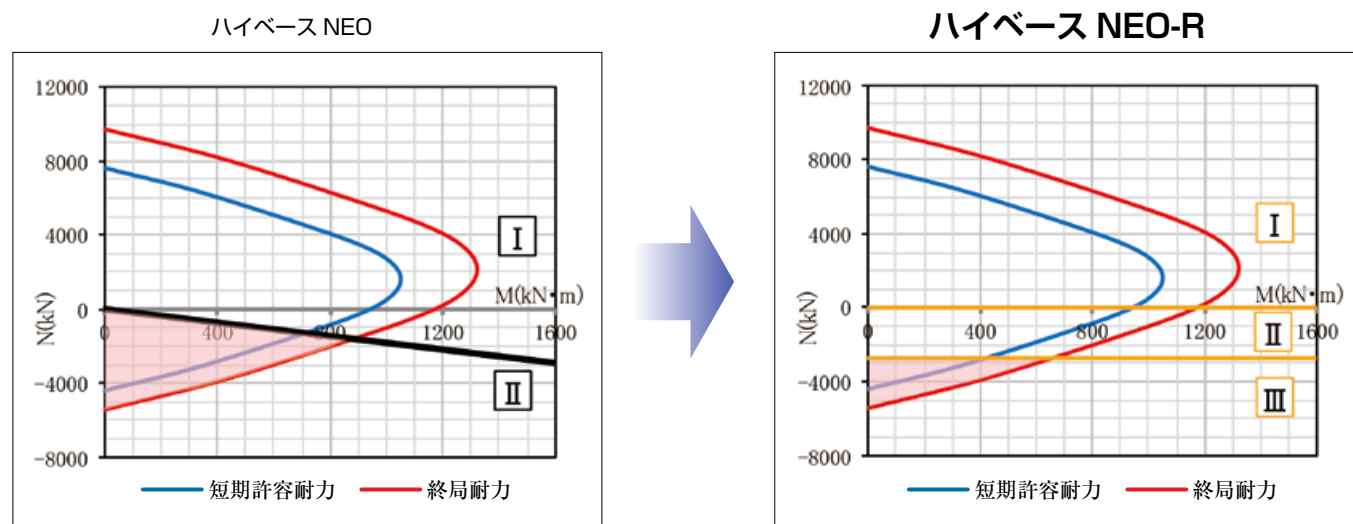
ハイベース NEO-R 工法の特長

3. 柱型配筋量の最適化

従来の配筋ゾーン (I, II) を改良し、新たに3つのゾーン (I, II, III) に再構成しました。

これにより、応力に応じた柱形配筋量の最適化を実現し、より経済的な設計が可能となりました。

※配筋ゾーンは、一貫構造計算ソフトから出力された柱脚応力データを、センクシア柱脚検討ソフトにインポートすることで自動判定できます。



4. コンクリート設計基準強度 $30\text{N}/\text{mm}^2$ まで耐力算定が可能に

従来のハイベース NEO 工法では、標準型式における耐力算定時のコンクリート設計基準強度上限値は $24\text{N}/\text{mm}^2$ でしたが、ベースプレート設計法を改良することにより、標準型式で $30\text{N}/\text{mm}^2$ まで対応可能となりました。

※一部型式は、耐力算定時のコンクリート設計基準強度上限値を $30\text{N}/\text{mm}^2$ 未満としています。

※特形品では、コンクリート設計基準強度 $36\text{N}/\text{mm}^2$ まで耐力算定が可能です。

また、使用可能なコンクリート設計基準強度を最大 $60\text{N}/\text{mm}^2$ まで拡大しました。

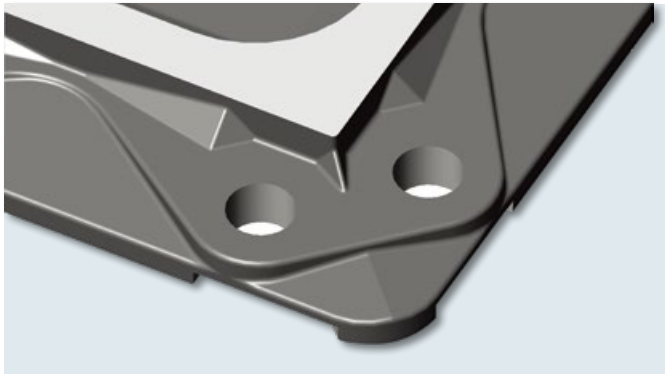
5. 型式ラインナップの拡充

多様化する設計ニーズに応えるため、型式ラインナップを拡充しました。また、エコタイプの角形鋼管柱用は板厚適用範囲も拡大、設計自由度が向上しました。これにより、構造物の特性や荷重条件に応じた最適な型式の選定がより一層可能となり、経済設計に貢献、コストの最適化が図れます。

6. 施工性、その他特長

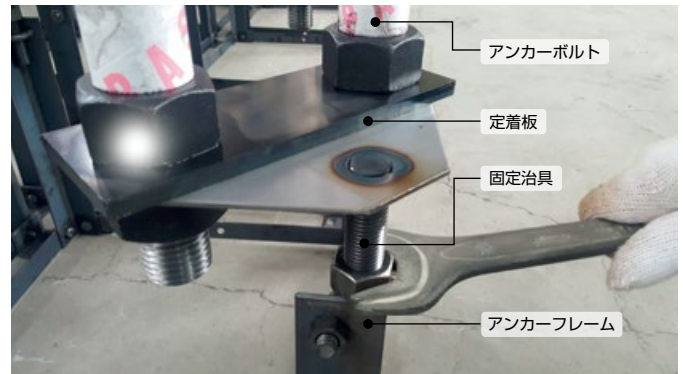
ベースプレートの形状を改良

ベースプレートをより効果的に性能を発揮できる形状に改良し、コンパクトにしました。それに伴い、鋼材量を軽減しています。



施工法の改良

アンカーボルト径 $\phi 56$ までの固定治具を標準化することで、基礎配筋との干渉を減らすことが可能になりました。
(現場状況により下形板を使用する場合があります)



柱脚ヒンジ仕様とすることでより経済的な設計が可能になります

許容応力度設計（柱脚部応力 \leq ハイベースの耐力）の採用によって合理的な設計が可能です。よりコンパクトに、より経済的に自由度の高い柱脚を検討できます。

根切りを浅くすることが可能になります

従来はエコタイプのアンカーボルト4本型式のみ、定着長さが $13.3d^{*2}$ でしたが、新たにGタイプのアンカーボルト4本型式も $13.3d$ となりました。

*2 dはアンカーボルト径
(アンカーボルト径 $\phi 24$ の場合は $16.6d$ 、 $\phi 56$ の場合は $20d$)

保有耐力接合仕様^{*1}

$\square 350 \times 350 \times 12$ GBX350-4-48

柱が決まれば型式も決まり、検討が容易

柱脚ヒンジ仕様

GBX350-4-42

柱脚ヒンジ仕様設計イメージ

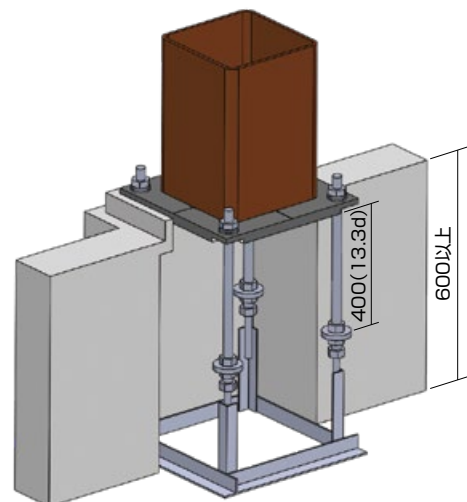
もっと、
価格安く
柱形小さく
根切り浅く
したい。

更に検討

アンカーボルト
高さ

検討により経済的な設計が可能です

根切りを浅くすることができます。



型式例：EBX250-4-30

(EBX、EMX、GBX、GMX型式のアンカーボルト本数8本・12本の型式とEHX、GHX、BSX、BCX型式の定着長さは $20d$ です)

ハイベース NEO-R 工法の特長

7. 鋼板製・鋳鋼製の2タイプのベースプレートを採用

鋼板製(エコタイプ)と鋳鋼製(Gタイプ)の2タイプのベースプレートを採用することで、経済性と性能を考慮した型式選定が可能です。



- ・エコタイプは建築構造用圧延鋼材 (SN490B) と TMCP325 を採用しています。
- ・Gタイプのベースプレートは鋳鋼特有の造形の自由さを利用して応力伝達の優れた形状にしました。(国土交通大臣認定の範囲内で標準外の形状や高耐力のベースプレートの設計が可能です)
- ・高強度鋼板を用いた特形対応も可能です。詳細は弊社へお問い合わせください。

適用柱材

- ・角形鋼管 (BCR295、BCP325、TSC295)
- ・高強度鋼管 (UBCR365、JBCR385 等)
※基準強度 (F 値) が 325N/mm²を超える場合は弊社へお問合せください。
- ・熱間成形角形鋼管 (SHC400、SHC490 等)
※EBX 型式に使用の場合、柱角部外側の曲率半径が BCR295 または BCP325 と同じであることが必要です。
- ・円形鋼管 (STK400、STK490、STKN490 等)
- ・H形鋼 (SS400、SS490、SN490 等)、外法一定 H 形鋼
- ・溶接組立箱形断面柱は GBX 型式 (EBX 型式は適用不可)
- ・CFT (コンクリート充填鋼管構造)
- ・柱を斜めに取り付ける場合は、弊社へお問合せください。
- ・ここに記載のない材質は弊社へお問い合わせください。

8. (一財)日本建築センター評価および国土交通大臣認定を取得

性能については実大実験で確認し、工法は(一財)日本建築センターの評価、材料は国土交通大臣認定を取得しています。



実験風景

工法	評価番号
エコタイプ	BCJ評価-ST0059
Gタイプ 偏心タイプ	BCJ評価-ST0058

部材	認定番号
ベースプレート(Gタイプ・偏心タイプ)	MSTL-0566
アンカー用ボルトセット	MBLT-0042~0044, 0046 0228~0230

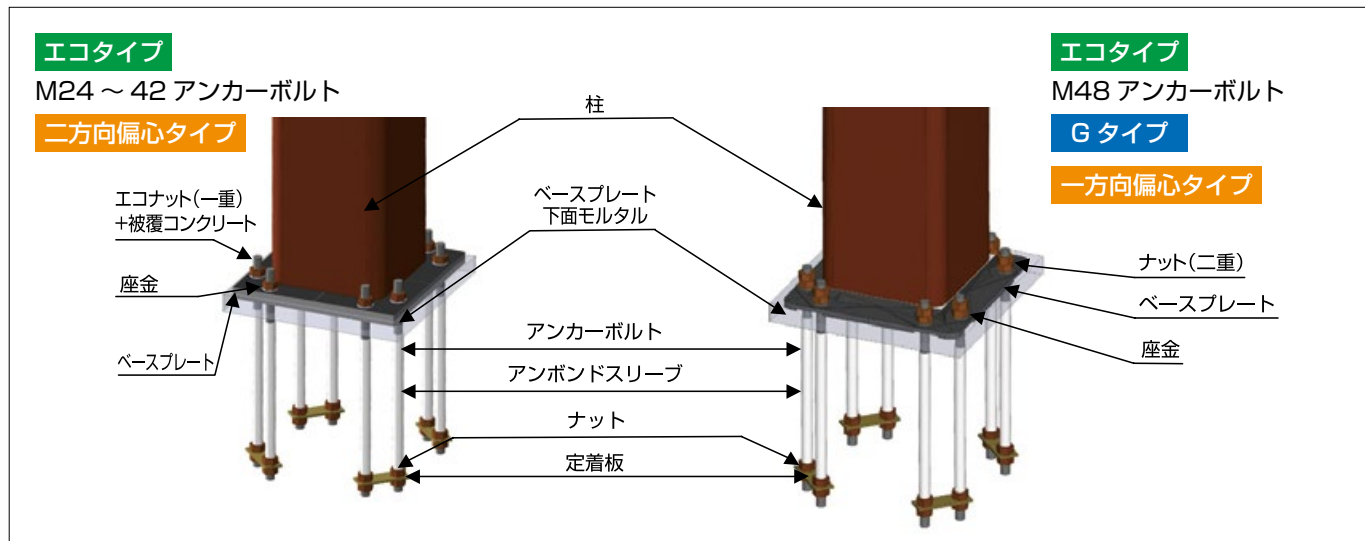
アンカーボルト

- ・HAB材(建築基準法第37条第二号の規定による認定取得)を採用した高強度アンカーボルトです。
- ・『2025年版建築物の構造関係技術基準解説書』に定められた「伸び能力を有するアンカーボルト」です。(降伏比0.7以下)

ハイベース NEO-R 工法の構成・規格

構成と規格

ハイベース NEO-R 工法の構成



規格

エコタイプ

構成部品		ベースプレート	アンカーボルト ^{※2}	エコナット ^{※2}	ナット ^{※2}	座金 ^{※2}	定着板
項目	規格	JIS G3136 又は TMCP 鋼 ^{※4}	大臣認定取得材 (HAB)	大臣認定取得材	JIS B1181 (六角ナット)	JIS G3106	JIS G3101
	ねじの種類	—	メートル並目	メートル並目	メートル並目	—	—
	備考	SN490B 又は TMCP325	降伏比 0.7 以下	—	強度区分 5	SM490A	SS400

エコタイプのベースプレート上のナットは M42 以下はエコナット、M48 は六角ナット (二重ナット) を用います。
 エコタイプのベースプレートは板厚 40mm 以下は SN490B を使用、40mm 超は TMCP325 を使用

G タイプ

偏心タイプ

構成部品		ベースプレート ^{※1}	アンカーボルト ^{※2}	ナット ^{※2}	座金 ^{※2}	定着板
項目	規格	大臣認定取得材 (HCW490B)	大臣認定取得材 (HAB)	JIS B1181 (六角ナット)	JIS G3106	JIS G3101
	ねじの種類	—	メートル並目 ^{※3}	メートル並目 ^{※3}	—	—
	備考	SN490B 同等	降伏比 0.7 以下	強度区分 5 (二重ナット時) 強度区分 8 (一重ナット時)	SM490A	SS400

※1 国土交通大臣認定[MSTL-0566]

※2 国土交通大臣認定[MBLT-0042~0044,0046,0228~0230]

※3 M72はメートル細目ねじ

※4 建築基準法第37条第二号に基づく国土交通大臣認定を取得した材料を使用

注意

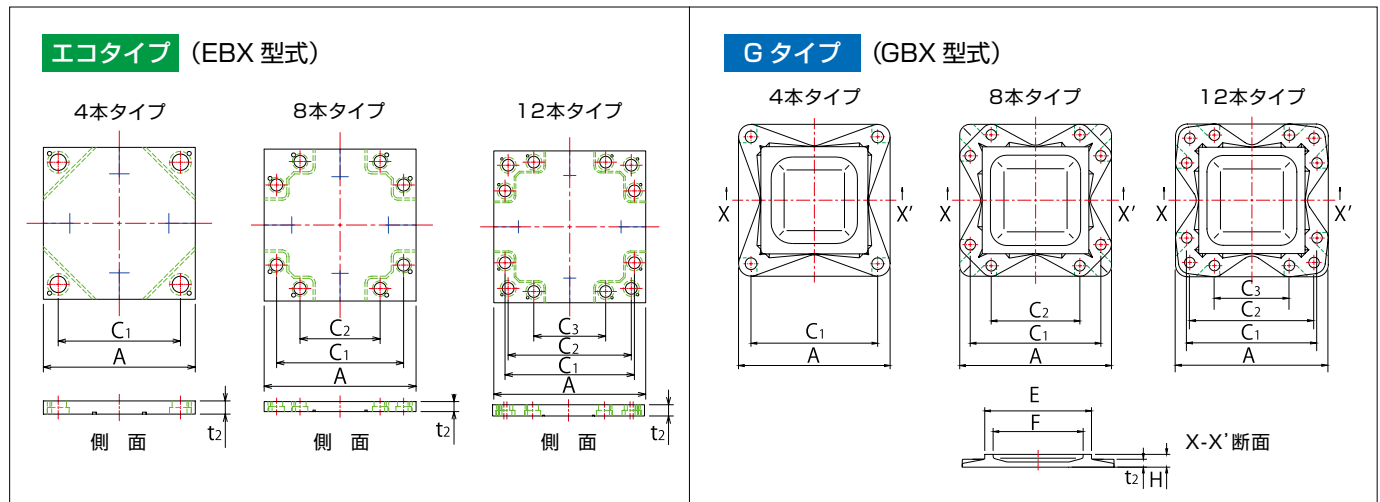
- エコタイプおよび偏心タイプ BCX 型式のアンカーボルトは一重ナットとしておりますので、ゆるみ止め処置としてコンクリートによる埋め込みを行ってください。※エコタイプ M48 のみ二重ナットを用います。
- エコタイプでコンクリートへの埋め込みを行わない場合には、二重ナットのゆるみ止めが必要です。その場合は、弊社にご相談ください。
- G タイプおよび一方方向偏心タイプ (BSX 型式) のアンカーボルトには二重ナットを標準としていますが、一重ナットでも適用可能です。その場合は、コンクリートによる埋め込みを行ってください。(G タイプおよび一方方向偏心タイプ (BSX 型式) で一重ナットとする場合は、弊社にご相談ください)
- ベースプレート下の基礎、基礎はりに使用するコンクリート、鉄筋は以下の品質としてください。
 コンクリート：日本建築学会「建築工事標準仕様書・同解説 JASS5」に定める普通コンクリートおよび高強度コンクリート
 鉄筋：JIS G3112「鉄筋コンクリート用棒鋼」に定める異形棒鋼

警告

- アンカーボルトおよびナットは、加熱・溶接・切断を行わないでください。所定の性能が発揮できず、地震時に破断・倒壊のおそれがあります。

ハイベース NEO-R 工法の寸法一覧

ベースプレートの寸法と回転ばね定数 角形鋼管柱用 (□ 150 ~ □ 400)



型式表示例

E B X 300 - 4 - 30

E:エコタイプ G:Gタイプ 角形鋼管柱用 柱サイズ アンカーボルト本数 アンカーボルト径

適用柱 サイズ	板厚範囲 (mm)	型式名		アンカー ボルト 本数	回転ばね定数 ($\times 10^3 \text{ kN} \cdot \text{m/rad}$)	寸法(mm)							質量(kg)		セット 質量 (kg)		
		エコタイプ	Gタイプ			A	C1	C2	C3	E	F	H	t2	ベース プレート		部品	
□150	3.2 ~ 12	EBX150-4-24		4	14.2	300	210	-	-	-	-	-	25	18	17	35	
□175	4.5 ~ 12	EBX175-4-24		4	16.9	320	230	-	-	-	-	-	25	21	17	38	
□200	4.5 ~ 16	EBX200-4-24		4	22.0	350	260	-	-	-	-	-	25	25	17	42	
		EBX200-4-30		4	34.6	360	270	-	-	-	-	-	32	33	27	60	
		EBX200-4-36		4	42.0	360	270	-	-	-	-	-	40	41	42	83	
□250	5 ~ 19	EBX250-4-24		4	30.9	400	310	-	-	-	-	-	25	32	18	50	
		EBX250-4-30		4	47.0	410	320	-	-	-	-	-	32	43	28	71	
		EBX250-4-36		4	60.2	410	320	-	-	-	-	-	40	53	43	96	
	6 ~ 19	EBX250-8-30		8	58.5	450	360	190	-	-	-	-	40	64	57	121	
□300	4.5 ~ 22	EBX300-4-24		4	43.2	450	360	-	-	-	-	-	25	40	19	59	
		EBX300-4-30		4	66.2	460	370	-	-	-	-	-	32	54	29	83	
	6 ~ 22	EBX300-4-36		4	78.8	460	370	-	-	-	-	-	40	67	44	111	
		EBX300-8-30		8	79.0	500	410	240	-	-	-	-	36	71	58	129	
		EBX300-8-36		8	96.9	510	420	220	-	-	-	-	44	90	90	180	
□350	9 ~ 25	EBX350-4-24		4	58.7	500	410	-	-	-	-	-	25	50	20	70	
		EBX350-4-30		4	95.6	510	420	-	-	-	-	-	32	66	30	96	
		EBX350-4-36		4	108	510	420	-	-	-	-	-	40	82	45	127	
		EBX350-8-30		8	102	550	460	290	-	-	-	-	36	86	59	145	
		EBX350-8-36		8	125	560	470	270	-	-	-	-	44	109	91	200	
		EBX350-8-42		8	145	590	480	260	-	-	-	-	48	132	140	272	
			GBX350-4-42		4	161	540	430	-	-	356	280	75	50	97	68	165
			GBX350-4-48		4	198	580	450	-	-	356	280	90	60	128	98	226
			GBX350-8-30		8	142	530	440	270	-	358	280	55	29	71	58	129
		GBX350-8-36		8	160	550	460	260	-	356	280	70	37	89	91	180	
		GBX350-8-42		8	189	580	470	250	-	356	280	70	46	109	140	249	
□400	9 ~ 28	EBX400-4-30		4	106	560	470	-	-	-	-	-	32	79	31	110	
		EBX400-4-36		4	144	560	470	-	-	-	-	-	40	99	46	145	
		EBX400-8-30		8	133	600	510	340	-	-	-	-	36	102	60	162	
		EBX400-8-36		8	145	610	520	320	-	-	-	-	40	117	92	209	
		EBX400-8-42		8	191	640	530	310	-	-	-	-	48	155	142	297	

※部品の質量はアンカーボルト部品と形板を合わせた質量を、セット質量はベースプレートと部品の総質量を表します。

※Gタイプは、表中に無い柱サイズについても対応可能です。弊社に問い合わせください。

※溶接組立箱形断面柱は、GBX 型式に適用可能です (EBX 型式は適用不可)。



注意

Gタイプのベースプレートには堰跡の凸部があるものがありますが、ご使用上、性能に問題はございません。

ベースプレートの寸法と回転ばね定数 角形鋼管柱用 (□400~□650)

適用柱		型式名		アンカー ボルト 本数	回転ばね定数 ($\times 10^3 \text{kN} \cdot \text{m/rad}$)	寸法 (mm)								質量 (kg)		セット 質量 (kg)	
サイズ	板厚範囲 (mm)	エコタイプ	Gタイプ			A	C1	C2	C3	E	F	H	t2	ベース プレート	部品		
□400	9~32		GBX400-4-42	4	201	590	480	-	-	408	320	75	47	115	69	184	
			GBX400-4-48	4	243	630	500	-	-	408	320	85	57	147	100	247	
			GBX400-8-36	8	205	600	510	310	-	408	320	60	35	101	92	193	
			GBX400-8-42	8	247	630	520	300	-	408	320	75	42	128	141	269	
			GBX400-8-48	8	290	670	540	290	-	408	320	85	53	166	206	372	
□450	9~28	EBX450-4-36		4	154	610	520	-	-	-	-	-	40	117	48	165	
		EBX450-4-42		4	200	640	530	-	-	-	-	-	44	142	71	213	
		EBX450-8-36		8	197	660	570	370	-	-	-	-	44	151	94	245	
		EBX450-8-42		8	230	690	580	360	-	-	-	-	48	180	143	323	
	9~36		GBX450-4-42		4	244	640	530	-	-	458	360	75	46	137	71	208
			GBX450-4-48		4	292	680	550	-	-	458	360	85	56	173	101	274
			GBX450-8-36		8	259	650	560	360	-	458	360	65	34	123	93	216
			GBX450-8-42		8	316	680	570	350	-	458	360	65	42	144	143	287
	GBX450-8-48		8	368	720	590	340	-	458	360	75	50	181	208	389		
□500	9~28	EBX500-4-36		4	192	660	570	-	-	-	-	-	40	137	49	186	
		EBX500-4-42		4	250	690	580	-	-	-	-	-	44	165	72	237	
		EBX500-8-30		8	217	700	610	440	-	-	-	-	40	154	62	216	
	9~32	EBX500-8-36		8	241	710	620	420	-	-	-	-	44	175	95	270	
		EBX500-8-42		8	278	740	630	410	-	-	-	-	48	207	144	351	
		EBX500-12-42		12	370	740	630	600	350	-	-	-	55	237	210	447	
	9~40		GBX500-4-42		4	293	690	580	-	-	508	400	75	46	163	72	235
			GBX500-4-48		4	347	730	600	-	-	508	400	90	55	205	103	308
			GBX500-8-36		8	311	700	610	410	-	508	400	65	32	142	94	236
			GBX500-8-42		8	377	730	620	400	-	508	400	75	40	173	144	317
			GBX500-8-48		8	436	770	640	390	-	508	400	85	48	216	209	425
			GBX500-8-56		8	514	800	660	380	-	510	400	95	58	261	320	581
	GBX500-8-64		8	580	840	680	380	-	508	400	110	71	330	462	792		
	GBX500-12-48		12	663	770	640	600	310	510	400	90	55	243	306	549		
	GBX500-12-56		12	710	800	660	620	290	510	400	105	69	312	469	781		
□550	9~32	EBX550-8-36		8	283	760	670	470	-	-	-	-	44	200	96	296	
		EBX550-8-42		8	326	790	680	460	-	-	-	-	48	236	145	381	
		EBX550-12-42		12	444	790	680	650	400	-	-	-	55	270	211	481	
	9~40		GBX550-4-48		4	413	780	650	-	-	558	450	85	54	230	104	334
			GBX550-4-56		4	394	810	670	-	-	558	450	100	68	282	179	461
			GBX550-8-36		8	368	750	660	460	-	558	450	65	31	166	95	261
			GBX550-8-42		8	449	780	670	450	-	558	450	75	38	198	145	343
			GBX550-8-48		8	522	820	690	440	-	558	450	75	47	233	211	444
			GBX550-8-56		8	619	850	710	430	-	560	450	90	55	285	323	608
			GBX550-8-64		8	708	890	730	430	-	558	450	100	69	353	465	818
	GBX550-12-48		12	757	820	690	650	360	560	450	85	52	263	308	571		
	GBX550-12-56		12	866	850	710	670	340	560	450	100	66	334	472	806		
□600	9~40		GBX600-4-56	4	452	860	720	-	-	608	500	100	67	319	181	500	
			GBX600-8-42	8	526	830	720	500	-	610	500	70	36	219	147	366	
			GBX600-8-48	8	615	865	740	490	-	610	500	75	44	258	212	470	
			GBX600-8-56	8	713	900	760	480	-	610	500	85	53	312	325	637	
			GBX600-8-64	8	873	950	790	490	-	610	500	100	67	399	468	867	
			GBX600-12-48	12	898	870	740	700	410	612	500	85	51	297	310	607	
			GBX600-12-56	12	1047	900	760	720	390	612	500	100	63	366	475	841	
	GBX600-12-64	12	1134	940	780	730	360	612	500	110	78	462	689	1151			
□650	12~40		GBX650-4-56	4	525	910	770	-	-	658	550	100	65	358	183	541	
			GBX650-8-42	8	594	875	770	550	-	658	548	75	35	252	148	400	
			GBX650-8-48	8	701	920	790	540	-	660	550	80	42	294	214	508	
			GBX650-8-56	8	838	950	810	530	-	660	550	85	52	346	327	673	
			GBX650-8-64	8	961	980	820	520	-	660	550	95	60	404	470	874	
			GBX650-8-72	8	1079	1010	840	510	-	660	550	110	73	483	661	1144	
			GBX650-12-56	12	1213	950	810	770	440	662	550	110	62	418	477	895	
	GBX650-12-64	12	1337	990	830	780	410	662	550	110	74	496	692	1188			

※部品の質量はアンカーボルト部品と形板を合わせた質量を、セット質量はベースプレートと部品の総質量を表します。

※Gタイプは、表中に無い柱サイズについても対応可能です。弊社にお問い合わせください。

※溶接組立箱形断面柱は、GBX 型式に適用可能です (EBX 型式は適用不可)。

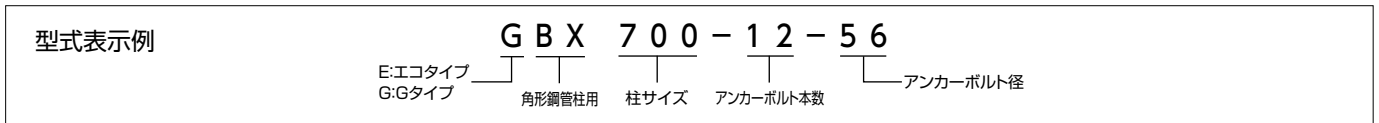
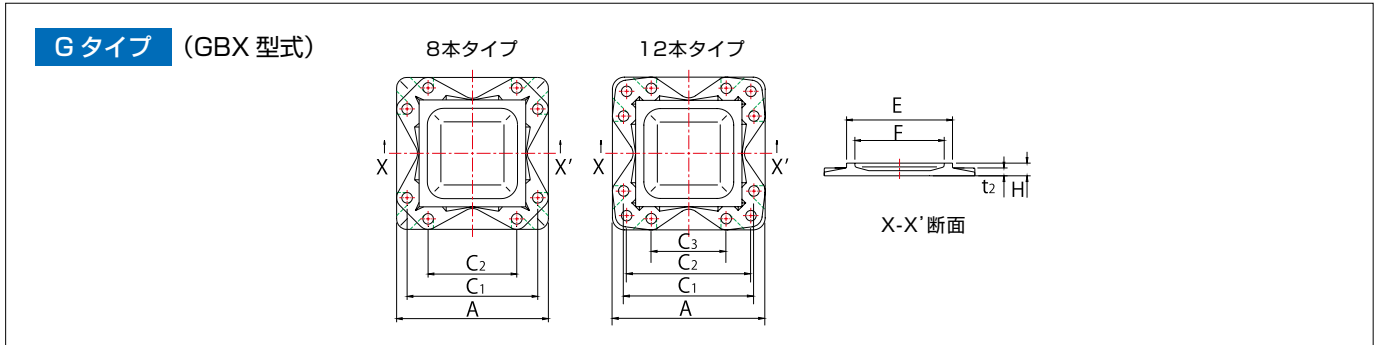


注意

Gタイプのベースプレートには掘跡の凸部があるものがありますが、ご使用上、性能に問題はありません。

ハイベース NEO-R 工法の寸法一覧

ベースプレートの寸法と回転ばね定数 角形鋼管柱用 (□700~□1200)



適用柱		型式名		アンカーボルト本数	回転ばね定数 ($\times 10^4 \text{ kN} \cdot \text{m/rad}$)	寸法(mm)								質量(kg)		セット質量(kg)
サイズ	板厚範囲(mm)	エコタイプ	Gタイプ			A	C1	C2	C3	E	F	H	t2	ベースプレート	部品	
□700	12~40		GBX700-4-56	4	603	960	820	-	-	708	600	100	65	404	185	589
			GBX700-8-48	8	804	965	840	590	-	710	600	75	41	324	215	539
			GBX700-8-56	8	968	1000	860	580	-	710	600	80	51	381	330	711
			GBX700-8-64	8	1127	1040	880	580	-	710	600	95	62	467	473	940
			GBX700-8-72	8	1275	1060	890	560	-	710	600	110	70	528	664	1192
			GBX700-12-56	12	1396	1000	860	820	490	712	600	95	62	449	480	929
□750	16~40		GBX750-8-56	8	1102	1050	910	630	-	760	650	85	50	437	332	769
			GBX750-8-64	8	1279	1090	930	630	-	760	650	90	61	514	476	990
			GBX750-8-72	8	1435	1110	940	610	-	760	650	105	69	579	667	1246
			GBX750-12-48	12	1382	1020	890	850	560	762	650	85	50	428	315	743
			GBX750-12-56	12	1591	1050	910	870	540	762	650	95	62	501	483	984
			GBX750-12-64	12	1816	1090	930	880	510	762	650	105	70	584	698	1282
□800	16~40		GBX750-12-72	12	1910	1110	940	890	480	762	650	115	80	663	986	1649
			GBX800-8-56	8	1234	1100	960	680	-	810	700	85	48	474	334	808
			GBX800-8-64	8	1451	1140	980	680	-	810	700	95	59	566	478	1044
			GBX800-8-72	8	1617	1160	990	660	-	810	700	105	67	633	669	1302
			GBX800-12-56	12	1824	1100	960	920	590	812	700	95	61	557	485	1042
			GBX800-12-64	12	2047	1140	980	930	560	812	700	105	69	643	702	1345
□850	16~40		GBX800-12-72	12	2205	1160	990	940	530	812	700	115	80	729	990	1719
			GBX850-12-56	12	2061	1150	1010	970	640	862	750	105	62	642	488	1130
			GBX850-12-64	12	2319	1190	1030	980	610	862	750	100	69	705	705	1410
			GBX850-12-72	12	2493	1210	1040	990	580	862	750	110	76	776	993	1769
			GBX900-12-56	12	2299	1200	1060	1020	690	912	800	105	61	712	491	1203
			GBX900-12-64	12	2593	1240	1080	1030	660	912	800	105	68	784	708	1492
□900	16~40		GBX900-12-72	12	2816	1260	1090	1040	630	912	800	110	74	845	997	1842
			GBX950-12-56	12	2588	1250	1110	1070	740	962	850	110	62	805	493	1298
			GBX950-12-64	12	2938	1290	1130	1080	710	962	850	115	68	886	711	1597
			GBX950-12-72	12	3197	1310	1140	1090	680	962	850	110	75	936	1001	1937
			GBX1000-12-56	12	2871	1300	1160	1120	790	1012	900	115	61	909	496	1405
			GBX1000-12-64	12	3231	1340	1180	1130	760	1012	900	115	68	987	714	1701
□1000	16~40		GBX1000-12-72	12	3560	1350	1180	1130	720	1012	900	125	68	1026	1004	2030
			GBX1050-12-64	12	3536	1390	1230	1180	810	1062	950	125	68	1114	718	1832
			GBX1050-12-72	12	3875	1410	1240	1190	780	1062	950	125	74	1173	1008	2181
			GBX1100-12-64	12	3904	1440	1280	1230	860	1112	1000	130	68	1235	721	1956
			GBX1100-12-72	12	4311	1460	1290	1240	830	1112	1000	130	74	1296	1011	2307
			GBX1150-12-64	12	4263	1490	1330	1280	910	1162	1050	135	68	1365	724	2089
□1100	16~40		GBX1150-12-72	12	4667	1510	1340	1290	880	1162	1050	135	74	1429	1015	2444
			GBX1200-12-64	12	4645	1540	1380	1330	960	1212	1100	140	67	1508	727	2235
			GBX1200-12-72	12	5113	1560	1390	1340	930	1212	1100	140	74	1578	1019	2597

※部品の質量はアンカーボルト部品と形板を合わせた質量を、セット質量はベースプレートと部品の総質量を表します。

※Gタイプは、表中に無い柱サイズについても対応可能です。弊社に問い合わせください。

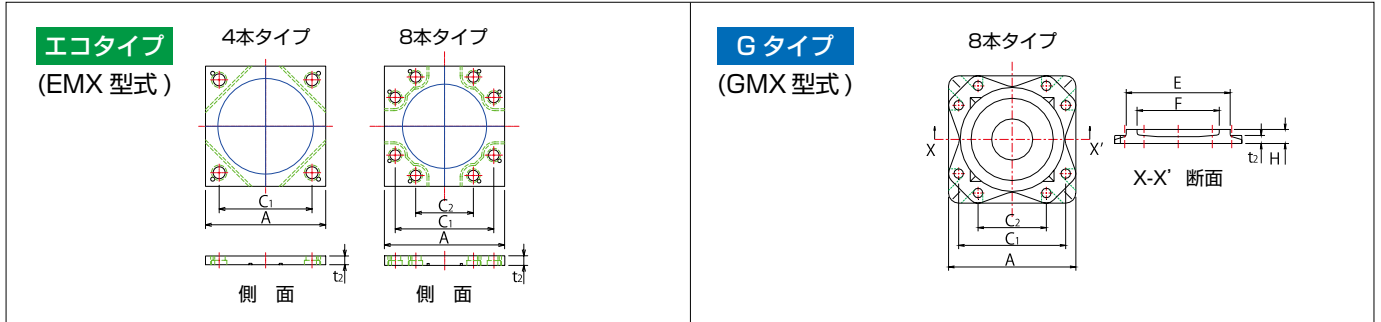
※溶接組立箱形断面柱は、GBX 型式に適用可能です (EBX 型式は適用不可)。



注意

Gタイプのベースプレートには堰跡の凸部があるものがありますが、ご使用上、性能に問題はありません。

ベースプレートの寸法と回転ばね定数 円形鋼管柱用



型式表示例 **EMX 300-4-24**

E:エコタイプ G:Gタイプ 円形鋼管柱用 柱サイズ アンカーボルト本数 アンカーボルト径

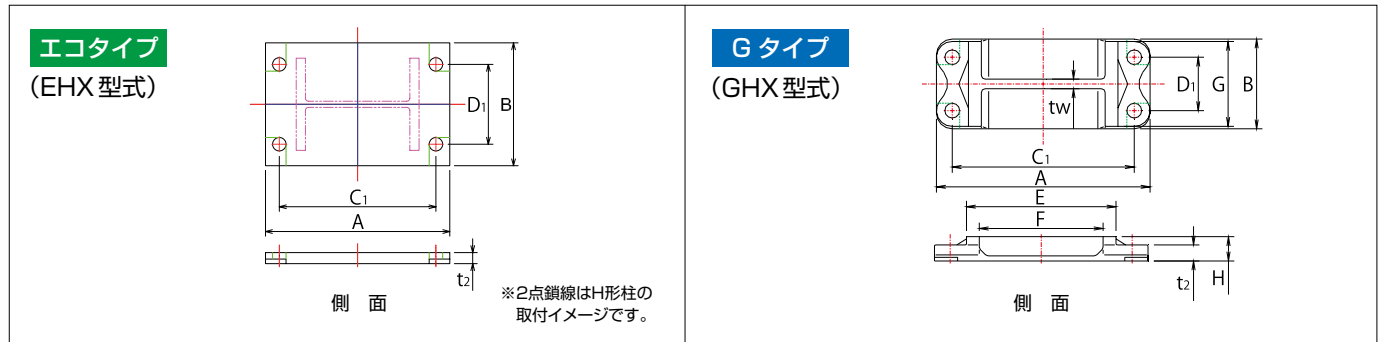
適用柱		型式名		アンカーボルト本数	回転ばね定数 ($\times 10^3 \text{ kN} \cdot \text{m/rad}$)	寸法(mm)						質量(kg)		セット質量(kg)	
サイズ	板厚範囲(mm)	エコタイプ	Gタイプ			A	C1	C2	E	F	H	t2	ベースプレート		部品
φ190.7	4.5~19	EMX190-4-24		4	14.8	300	210	-	-	-	25	18	17	35	
φ200 φ216.3	4.5~22	EMX216-4-24		4	19.2	320	230	-	-	-	28	23	17	40	
φ250 φ267.4	6~25	EMX250-4-24		4	26.9	350	260	-	-	-	25	25	17	42	
φ300 φ318.5	6~32	EMX300-4-24		4	34.7	400	310	-	-	-	28	36	18	54	
		EMX300-4-30		4	56.7	420	320	-	-	-	32	45	28	73	
φ350 φ355.6	6~36	EMX350-4-30		4	67.7	440	340	-	-	-	32	49	29	78	
		EMX350-8-30		8	96.5	500	410	240	-	-	40	79	58	137	
φ400 φ406.4	7.9~36	EMX400-8-30		8	139	540	450	280	-	-	40	92	59	151	
		EMX400-8-36		8	157	550	460	260	-	-	44	105	91	196	
		EMX400-8-42		8	175	590	480	260	-	-	55	151	140	291	
φ450 φ457.2	9~36	EMX450-8-30		8	155	570	480	310	-	-	36	92	59	151	
		EMX450-8-36		8	189	590	500	300	-	-	44	121	92	213	
		EMX450-8-42		8	222	630	520	300	-	-	55	172	141	313	
φ500 φ508	7.9~40	EMX500-8-36		8	225	630	540	340	-	-	44	138	93	231	
		EMX500-8-42		8	290	670	560	340	-	-	55	194	142	336	
		GMX500-8-48		8	394	700	570	320	518	390	90	55	201	207	408
		GMX500-8-56		8	422	730	590	310	518	390	100	67	246	317	563
φ550 φ558.8	9~40	EMX550-8-36		8	266	660	570	370	-	-	40	137	94	231	
		EMX550-8-42		8	344	700	590	370	-	-	50	193	143	336	
		GMX550-8-48		8	439	730	600	350	568	430	85	52	214	208	422
		GMX550-8-56		8	511	760	620	340	568	430	100	62	261	319	580
φ600 φ609.6	9~40	GMX600-8-36		8	389	690	600	400	618	478	70	38	176	94	270
		GMX600-8-48		8	525	770	640	390	618	478	85	52	244	209	453
		GMX600-8-64		8	674	840	680	380	618	478	110	75	360	462	822
φ650 φ660.4	9~40	GMX650-8-48		8	616	810	680	430	668	528	90	52	282	210	492
		GMX650-8-64		8	783	870	710	410	668	528	110	70	379	464	843
φ700 φ711.2	9~40	GMX700-8-48		8	693	840	710	460	718	568	80	48	295	211	506
		GMX700-8-64		8	910	910	750	450	718	568	105	70	417	466	883
φ750 φ762	9~40	GMX750-8-48		8	806	880	750	500	768	618	85	49	344	213	557
		GMX750-8-64		8	1046	950	790	490	768	618	110	68	465	468	933
φ800 φ812.8	9~40	GMX800-8-48		8	902	910	780	530	819	659	90	47	387	213	600
		GMX800-8-64		8	1182	980	820	520	819	659	100	65	487	470	957
φ850	9~40	GMX850-8-64		8	1348	1020	860	560	870	710	105	66	553	472	1025
φ900 φ914.4	9~40	GMX900-8-64		8	1527	1060	900	600	920	760	105	68	619	474	1093
φ950	9~40	GMX950-8-64		8	1678	1090	930	630	970	810	105	64	667	476	1143
φ1000 φ1016	9~40	GMX1000-8-64		8	1872	1130	970	670	1024	864	110	64	756	478	1234

※部品の質量はアンカーボルト部品と形板を合わせた質量を、セット質量はベースプレートと部品の総質量を表します。
 ※Gタイプは、表中に無い柱サイズについても対応可能です。弊社にお問い合わせください。

注意 Gタイプのベースプレートには堰跡の凸部があるものがありますが、ご使用上、性能に問題はありません。

ハイベース NEO-R 工法の寸法一覧

ベースプレートの寸法と回転ばね定数 H形柱用



型式表示例

E H X 150 * 150 - 4 - 24

E:エコタイプ G:Gタイプ H: H形柱用 150 * 150: 柱サイズ 4: アンカーボルト本数 24: アンカーボルト径

適用柱シリーズ	型式名		アンカーボルト本数	回転ばね定数 (×10 ³ kN・m/rad)		寸法(mm)										質量(kg)		セット質量(kg)
	エコタイプ	Gタイプ		強軸	弱軸	A	B	C1	D1	E	F	G	tw	H	t2	ベースプレート	部品	
150×150	EHX150*150-4-24		4	12.8	7.6	330	230	250	150	-	-	-	-	-	40	24	19	43
175×175	EHX175*175-4-24		4	18.4	11.2	360	250	280	170	-	-	-	-	-	36	26	19	45
200×150	EHX200*150-4-24		4	20.7	7.3	400	230	320	150	-	-	-	-	-	44	32	19	51
200×200	EHX200*200-4-24		4	23.8	13.3	400	280	320	170	-	-	-	-	-	36	32	19	51
250×175	EHX250*175-4-24		4	29.8	10.3	430	280	350	170	-	-	-	-	-	36	35	20	55
250×250	EHX250*250-4-24		4	35.4	21.4	450	350	370	210	-	-	-	-	-	32	40	20	60
	EHX250*250-4-30		4	41.9	26.3	460	350	370	230	-	-	-	-	-	40	51	33	84
	EHX250*250-4-36		4	49.9	33.6	450	350	360	230	-	-	-	-	-	48	60	51	111
300×200	EHX300*200-4-30		4	55.1	16.1	500	300	410	170	-	-	-	-	-	44	52	35	87
300×300	EHX300*300-4-30		4	62.2	35.2	560	400	470	260	-	-	-	-	-	44	78	37	115
	EHX300*300-4-36		4	72.7	45.1	530	400	440	270	-	-	-	-	-	48	80	55	135
350×250	EHX350*250-4-36		4	82.2	30.8	560	350	460	230	-	-	-	-	-	48	74	54	128
350×350	EHX350*350-4-42		4	113	71.7	620	450	510	320	-	-	-	-	-	55	121	86	207
400×200	EHX400*200-4-36		4	107	19.7	610	300	520	190	-	-	-	-	-	55	80	55	135
400×300	EHX400*300-4-30		4	97.8	39.5	600	400	510	260	-	-	-	-	-	36	68	38	106
	EHX400*300-4-42		4	123	51.9	630	400	520	280	-	-	-	-	-	55	109	85	194
400×400	EHX400*400-4-42		4	144	88.4	700	490	590	350	-	-	-	-	-	55	149	97	246
400×200 400×300 400×400		GHX400*400-4-56	4	276	163	760	490	620	330	468	338	470	60	100	63	160	194	354
450×200	EHX450*200-4-30		4	115	17.5	650	300	560	190	-	-	-	-	-	44	68	37	105
450×250	EHX450*250-4-36		4	136	30.8	670	350	570	230	-	-	-	-	-	48	89	61	150
450×300	EHX450*300-4-36		4	136	42.7	670	400	580	260	-	-	-	-	-	48	101	62	163
450×200 450×250 450×300		GHX450*300-4-42	4	181	52.2	700	350	590	220	468	368	330	40	90	51	87	93	180
		GHX450*300-4-48	4	213	65.9	730	370	600	220	468	368	350	40	100	60	105	128	233

※部品の質量はアンカーボルト部品と形板を合わせた質量を、セット質量はベースプレートと部品の総質量を表します。
 ※各型式の適用柱フランジ幅はエンドタブの大きさを考慮して表中の G 寸法でご確認ください。また、適用柱せいおよびフランジ厚はフランジ溶接用の裏あて金の厚さを考慮して表中の E, F 寸法でご確認ください。

注意

- 上記表中の適用柱シリーズであっても、柱サイズにより適用できない場合があります。適用可能な柱サイズの詳細については、別冊の設計ハンドブックをご参照ください。
- Gタイプのベースプレートには堰跡の凸部があるものがありますが、ご使用上、性能に問題はありませぬ。

適用柱 シリーズ	型式名		アンカー ボルト 本数	回転ばね定数 ($\times 10^3$ kN· m/rad)		寸法(mm)											質量(kg)		セット 質量 (kg)
	エコタイプ	Gタイプ		強軸	弱軸	A	B	C1	D1	E	F	G	tw	H	t2	ベース プレート	部品		
500×200	EHX500*200-4-42		4	197	24.1	740	300	630	190	-	-	-	-	-	65	114	93	207	
500×250	EHX500*250-4-42		4	198	36.8	740	350	630	230	-	-	-	-	-	60	122	94	216	
500×300	EHX500*300-4-36		4	168	44.0	720	400	630	260	-	-	-	-	-	48	109	63	172	
	EHX500*300-4-48		4	232	62.0	770	410	640	280	-	-	-	-	-	65	162	131	293	
500×200 500×250 500×300		GHX500*300-4-48	4	251	64.6	780	370	650	220	518	410	350	40	100	60	112	130	242	
600×200	EHX600*200-4-36		4	248	21.0	840	300	750	190	-	-	-	-	-	60	119	64	183	
600×250	EHX600*250-4-36		4	238	30.6	840	350	750	230	-	-	-	-	-	55	127	65	192	
600×300	EHX600*300-4-36		4	251	47.3	820	400	730	260	-	-	-	-	-	48	124	65	189	
	EHX600*300-4-42		4	270	52.1	860	400	750	280	-	-	-	-	-	60	163	99	262	
600×200 600×250 600×300		GHX600*300-4-56	4	426	92.4	910	400	770	240	618	510	380	40	120	71	156	196	352	
700×300	EHX700*300-4-42		4	396	54.1	950	400	840	260	-	-	-	-	-	55	165	101	266	
	EHX700*300-4-48		4	420	59.9	980	410	850	280	-	-	-	-	-	65	206	137	343	
700×200 700×250 700×300 700×400		GHX700*300-4-56	4	566	116	1020	440	880	280	720	600	420	40	120	69	186	215	401	
800×250 800×300		GHX800*300-4-42	4	539	55.9	1050	370	940	220	820	690	330	40	90	50	130	114	244	
800×250 800×300 800×350 800×400		GHX800*300-4-56	4	716	115	1120	440	980	280	820	690	420	40	120	69	203	220	423	
900×250 900×300 900×350		GHX900*300-4-42	4	676	73.1	1150	390	1040	260	920	790	370	40	90	47	155	119	274	
900×250 900×300 900×350 900×400		GHX900*300-4-56	4	903	118	1220	440	1080	280	920	790	420	40	120	69	220	225	445	

※部品の質量はアンカーボルト部品と形板を合わせた質量を、セット質量はベースプレートと部品の総質量を表します。

※各型式の適用柱フランジ幅はエンドタブの大きさを考慮して表中のG寸法でご確認ください。また、適用柱せいおよびフランジ厚はフランジ溶接用の裏あて金の厚さを考慮して表中のE, F寸法でご確認ください。

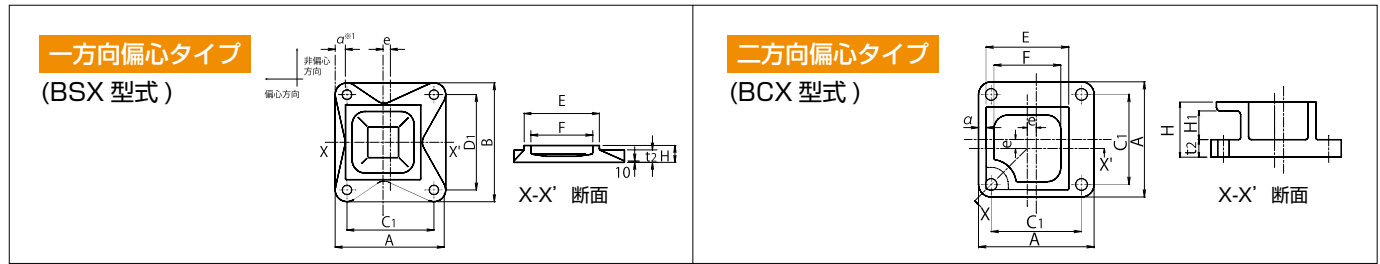


注意

- ・上記表中の適用柱シリーズであっても、柱サイズにより適用できない場合があります。
- ・適用可能な柱サイズの詳細については、別冊の設計ハンドブックをご参照ください。
- ・Gタイプのベースプレートには堰跡の凸部があるものがありますが、ご使用上、性能に問題はございません。

ハイベース NEO-R 工法の寸法一覧

ベースプレートの寸法と回転ばね定数 角形鋼管柱用偏心タイプ



型式表示例 **BSX 200-4-24**
 角形鋼管柱用一方偏心タイプ 柱サイズ アンカーボルト本数 アンカーボルト径

適用柱		型式名	偏心量 e (mm)	回転ばね定数 ($\times 10^3 \text{ kN} \cdot \text{m/rad}$)		寸法 (mm)								質量 (kg)		セット質量 (kg)	
サイズ	板厚範囲 (mm)			偏心方向	非偏心方向	A	B	C1	D1	E	F	H	t2	ベースプレート	部品		
□200×200	6~12	BSX200-4	-24	30	19.9	21.3	310	330	250	270	210	160	70	47	35	20	55
□250×250	6~16	BSX250-4	-30	40	35.7	46.3	380	460	280	360	256	200	85	67	72	33	105
			-36		43.1	56.5										51	123
□300×300	6~22	BSX300-4	-36	40	54.4	75.5	450	530	340	420	306	240	95	77	112	53	165
			-42		73.0	90.0										88	200
□350×350	9~22	BSX350-4	-42	50	79.8	115	500	600	380	480	356	290	105	86	155	91	246
			-48		103	134										124	279
□400×400	9~28	BSX400-4	-48	50	126	172	590	690	450	550	408	328	120	100	240	128	368
			-56		158	205										201	441
□450×450	9~32	BSX450-4	-48	50	154	204	640	740	500	600	458	370	115	97	277	131	408
			-56		182	242										205	482
□500×500	9~32	BSX500-4	-48	60	177	241	670	790	530	650	508	420	115	95	310	133	443
			-56		207	283										209	519
□550×550	12~32	BSX550-4	-48	60	220	281	720	840	580	700	558	470	115	93	355	136	491
			-56		251	330										214	569
□600×600	12~32	BSX600-4	-48	60	249	326	770	890	630	750	610	520	110	91	410	139	549
			-56		295	385										219	629
□650×650	12~32	BSX650-4	-56	60	350	448	840	960	690	810	660	570	125	105	528	224	752
			-64		404	516										294	822
□700×700	12~32	BSX700-4	-56	60	405	506	890	1010	740	860	710	620	120	102	594	229	823
			-64		463	583										299	893

※部品の質量はアンカーボルト部品と形板を合わせた質量を、セット質量はベースプレートと部品の総質量を表します。
 ※溶接組立箱形断面柱にも適用可能です。

型式表示例 **BCX 250-4-30**
 角形鋼管柱用二方向偏心タイプ 柱サイズ アンカーボルト本数 アンカーボルト径

適用柱		型式名	偏心量 e (mm)	回転ばね定数 ($\times 10^3 \text{ kN} \cdot \text{m/rad}$)		寸法 (mm)								質量 (kg)		セット質量 (kg)
サイズ	板厚範囲 (mm)			偏心方向	非偏心方向	A	C1	E	F	α	H ₁	H	t2	ベースプレート	部品	
□250×250	6~16	BCX250-4	-30	40	35.7	380	280	256	200	25	131	230	67	120	32	152
			-36		43.1										50	170
□300×300	6~22	BCX300-4	-36	40	54.4	450	340	306	240	35	141	260	77	192	51	243
			-42		73.0										85	277
□350×350	9~22	BCX350-4	-42	50	79.8	500	380	356	290	25	149	280	86	263	88	351
			-48		103										121	384
□400×400	9~28	BCX400-4	-48	50	126	590	450	408	328	45	160	310	100	411	125	536
			-56		158										196	607
□450×450	9~32	BCX450-4	-48	50	154	640	500	458	370	45	159	305	97	478	128	606
			-56		182										200	678
□500×500	9~32	BCX500-4	-48	60	177	670	530	508	420	25	158	300	95	523	130	653
			-56		207										203	726
□550×550	12~32	BCX550-4	-48	60	220	720	580	558	470	25	158	300	93	588	133	721
			-56		251										208	796
□600×600	12~32	BCX600-4	-48	60	249	770	630	610	520	25	159	300	91	657	136	793
			-56		295										212	869
□650×650	12~32	BCX650-4	-56	60	350	840	690	660	570	35	171	325	105	859	218	1077
			-64		404										289	1148
□700×700	12~32	BCX700-4	-56	60	405	890	740	710	620	35	173	325	102	936	223	1159
			-64		463										293	1229

※部品の質量はアンカーボルト部品と形板を合わせた質量を、セット質量はベースプレートと部品の総質量を表します。
 ※溶接組立箱形断面柱にも適用可能です。

注意 環跡の凸部があるものがありますが、ご使用上、性能に問題はありません。

偏心タイプの特長

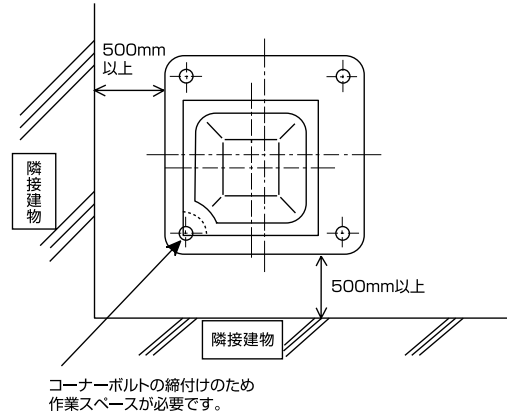
二方向偏心タイプ (BCX型式) の特長

- ①一方向偏心タイプ(BSX型式)との組み合わせにより、面積効率の良い建物設計が可能になります。
- ②柱位置を壁側に偏心させることで、建物の有効スペースが広がります。

⚠ 注意

- ・ベースプレート端から 500mm の施工スペースが必要です。(設計の際は、隣接建物との位置関係を充分ご注意ください。)
- ・アンカーボルトは一重ナットとしております。コンクリートに埋め込む等のゆるみ止め処置をお願いします。

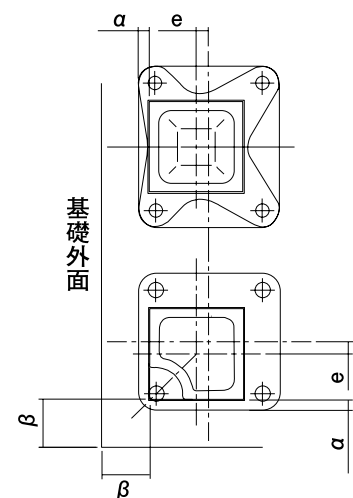
二方向偏心タイプの設計・施工上の注意点



基礎納まり例

型式	一方向偏心タイプ (例: BSX400-S1-48)	二方向偏心タイプ (例: BCX400-S1-48)
納まり例	<p>側柱</p>	<p>隅柱</p>

型式	e (mm)	α (mm)	β (mm)	
BSX	200-4-24	30	25	BSX:145
BSX BCX	250-4-30	40	25	BSX:120、BCX:125
	250-4-36	40	25	BSX:125、BCX:125
	300-4-36	40	35	BSX:130、BCX:130
	300-4-42	40	35	BSX:135、BCX:135
	350-4-42	50	25	BSX:120、BCX:120
	350-4-48	50	25	BSX:120、BCX:120
	400-4-48	50	45	BSX:130、BCX:130
	400-4-56	50	45	BSX:150、BCX:140
	450-4-48	50	45	BSX:130、BCX:130
	450-4-56	50	45	BSX:150、BCX:140
	500-4-48	60	25	BSX:110、BCX:110
	500-4-56	60	25	BSX:130、BCX:120
	550-4-48	60	25	BSX:110、BCX:110
	550-4-56	60	25	BSX:130、BCX:120
	600-4-48	60	25	BSX:110、BCX:110
	600-4-56	60	25	BSX:130、BCX:120
	650-4-56	60	35	BSX:130、BCX:120
	650-4-64	60	35	BSX:135、BCX:130
	700-4-56	60	35	BSX:130、BCX:120
	700-4-64	60	35	BSX:135、BCX:130

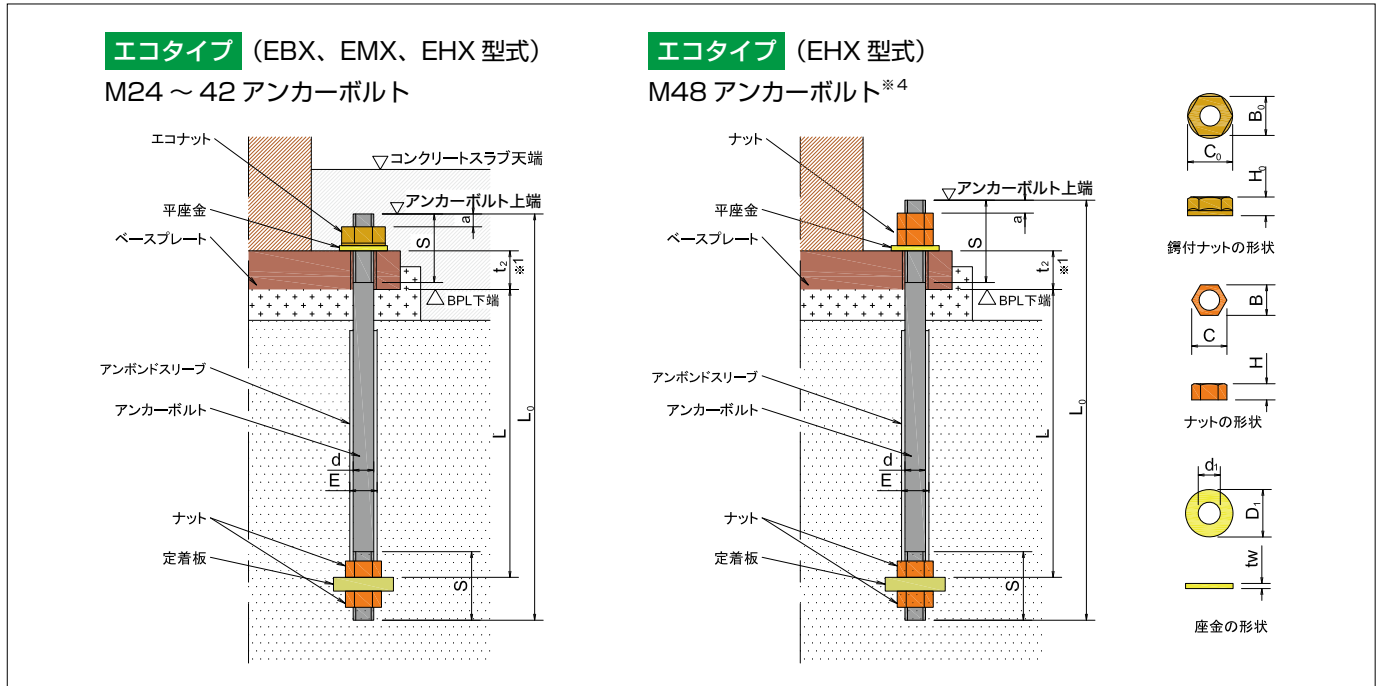


e=鉄骨柱偏心量 α =柱端面からベースプレート端までの距離 β =柱端面から基礎外面までの距離

※設計にあたっては別冊の「設計ハンドブック」をご参照ください。

ハイベース NEO-R 工法のアンカーボルト・部品

アンカーボルト部品の寸法と形状



(mm)

型式	ねじの呼び	アンカーボルト						アンボンドスリーブ	エコナット			ナット			座金		
		軸径	ねじ		余長	定着長さ	全長	外径	高さ	一面幅	対角距離	高さ	一面幅	対角距離	厚さ	内径	外径
			ピッチ	長さ													
d	P	S ^{*3}	a ^{*2}	L ^{*3}	L ₀ ^{*3}	E	H ₀	B ₀	C ₀	H	B	C	tw	d ₁	D ₁		
EBX EMX	M24	24	3	95	34	400	550	29	22	46	53	19	36	42	6	25	56
	M30	30	3.5	110	42	400	580	35	27	50	58	24	46	53	6	31	60
				130		600	800										
	M36	36	4	130	50	480	690	41	33	55	64	29	55	64	6	37	66
720						925											
M42	42	4.5	155	57	560	800	48	38	65	75	34	65	75	9	43	78	
					840	1080											
EHX	M24	24	3	105	34	480	645	29	22	46	53	19	36	42	6	25	56
	M30	30	3.5	130	42	600	800	35	27	50	58	24	46	53	6	31	60
	M36	36	4	150	50	720	955	41	33	55	64	29	55	64	6	37	66
	M42	42	4.5	165	57	840	1110	48	38	65	75	34	65	75	9	43	78
	M48	48	5	190	29	960	1270	54	-	-	-	38	75	87	9	50	92

※1 t₂はベースプレート厚を示します。寸法はP.8~P.14をご参照ください。
 ※2 a寸法は設置誤差等を考慮した設計時の寸法です。施工時の必要最低余長は3山です。
 ※3 EBX、EMX型式のM30、M36、M42の上段は4本タイプの場合、下段は8本、12本タイプの場合の寸法です。
 ※4 エコタイプは、EHX型式のM48のみエコナットは使用せず六角ナット（二重ナット）を用います。

⚠ 注意

- ・エコタイプのアンカーボルトは一重ナットが標準です。ゆるみ止めのためコンクリートへの埋め込みが必要です。
- ・コンクリートによる埋め込み高さは基礎柱形設計例のhc寸法を目安としてください。
- ・コンクリートによる埋め込みができない場合は二重ナットとする施工検討が必要です。弊社へ必ずお問合せください。
- ・EHX型式のM48は、標準が二重ナットのため、弊社への問い合わせなく柱脚部を露出とすることが可能です。

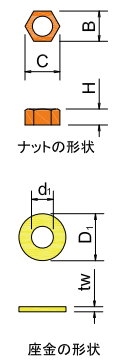
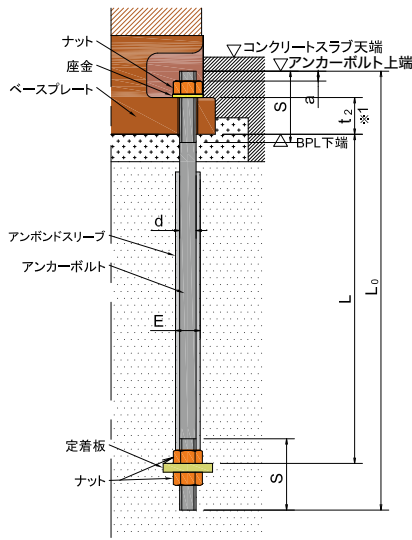
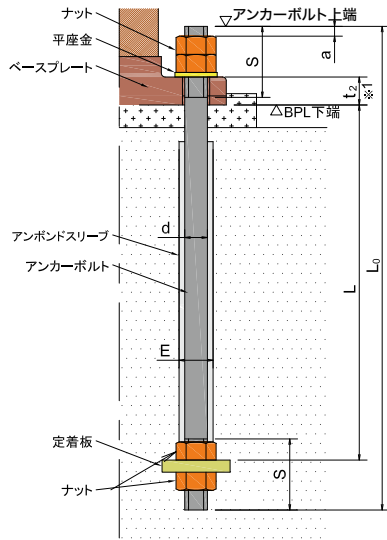
Gタイプ

(GBX、GMX、GHX 型式) (BSX 型式)

一方向偏心タイプ

二方向偏心タイプ

(BCX 型式)



(mm)

型式	ねじの呼び	アンカーボルト						アンボンドスリーブ		ナット			座金		
		軸径	ねじ		余長	定着長さ	全長	外径	高さ	二面幅	対角距離	厚さ	内径	外径	
			ピッチ	長さ											高さ
d	P	S ^{*3}	a ^{*2}	L ^{*3}	Lo ^{*3}	E	H	B	C	tw	d ₁	D ₁			
GBX GMX BCX	M30	30	3.5	130	20	600	800	35	24	46	53	6	31	56	
	M36	36	4	130	23	720	925	41	29	55	64	6	37	66	
	M42	42	4.5	155	25	560	800	48	34	65	75	9	43	78	
						840	1080								
	M48	48	5	175	29	640	915	54	38	75	87	9	50	92	
						960	1235								
	M56	56	5.5	185	31	1120	1420	62	45	85	98	9	58	105	
M64	64	6	200	35	1280	1610	70	51	95	110	12	66	115		
M72	72	6	250	37	1440	1850	79	58	105	121	12	74	125		
GHX BSX	M24	24	3	105	17	480	645	29	19	36	42	6	25	44	
	M30	30	3.5	130	20	600	800	35	24	46	53	6	31	56	
	M36	36	4	150	23	720	955	41	29	55	64	6	37	66	
	M42	42	4.5	165	25	840	1110	48	34	65	75	9	43	78	
	M48	48	5	190	29	960	1270	54	38	75	87	9	50	92	
	M56	56	5.5	210	31	1120	1470	62	45	85	98	9	58	105	
M64	64	6	230	35	1280	1660	70	51	95	110	12	66	115		

※1 twはベースプレート台座厚を示します。寸法はP.8～P.14をご参照ください。

※2 a寸法は設置誤差等を考慮した設計時の寸法です。施工時の必要最低余長は3山です。

※3 GBX、GMX、BCX型式のM42、M48の、上段はGBX、GMX型式の4本タイプの場合、下段はGBX、GMX型式の8本、12本タイプ及びBCX型式の4本タイプの場合の寸法です。



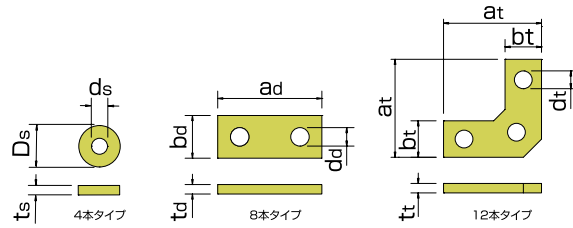
注意

- ・アンカーボルトは二重ナットを標準としていますが、一重ナットでも適用可能です。
- ・一重ナットとする場合は、コンクリートに埋め込むゆるみ止め処置が必要です。(一重ナットとする場合は、弊社にご相談ください)
- ・BCX型式のアンカーボルトは一重ナットです。コンクリートに埋め込むゆるみ止め処置を行ってください。

ハイベース NEO-R 工法のアンカーボルト・部品

アンカーボルト部品の寸法と形状

定着板形状（エコタイプ、Gタイプ、偏心タイプ共通）



定着板の寸法

(mm)

ねじの呼び	4本タイプ			8本タイプ				12本タイプ			
	厚さ	外径	内径	厚さ	長さ	幅	内径	厚さ	長さ	幅	内径
	t_s	D_s	d_s	t_d	a_d	b_d	d_d	t_t	a_t	b_t	d_t
M24	16	70	27	—	—	—	—	—	—	—	—
M30	16	90	33	9	180	65	33	—	—	—	—
M36	19	100	39	9	215	75	39	—	—	—	—
M42	22	120	45	9	240	85	45	9	225	85	45
M48	25	140	52	9	270	95	52	9	260	95	52
M56	28	160	60	9	305	110	60	9	295	110	60
M64	32	180	68	12	330	130	68	12	340	130	68
M72	—	—	—	16	380	145	76	16	375	145	76

ベースプレートのアンカーボルト孔径

(mm)

ねじの呼び	M24	M30	M36	M42	M48	M56	M64	M72
エコタイプ	38	44	50	57	61	—	—	—
Gタイプ	—	38	45	53	61	70	79	87
偏心タイプ	29	36	43	49	56	65	74	—

ハイベースNEO-R工法の設計

ハイベースNEO-R工法の設計

ハイベースNEO-R工法を用いた露出型柱脚の検討フロー



※冷間成形角形鋼管柱を用いる場合、柱脚（ベースプレートとアンカーボルトで構成される部分）の検討に際して応力の割増はしません。

ハイベース NEO-R 工法を使った建築物の設計フロー

ルート1-1、ルート1-2、ルート1-3、ルート2の場合

「2025年版 建築物の構造関係技術基準解説書 付図 1.2-25 露出型柱脚を使った建築物の計算ルート別の設計フロー」記載の各設計ルートに基づき検討を行ってください。

ルート3の場合

Ds割増し不要型式^{※1}は、純ラーメン構造^{※2}の場合、1階Dsの割増しを不要とする建築物の設計フローとすることができる。

純ラーメン構造（EBX、GBX、EMX、GMX、GHX 強軸方向、EHX 強軸方向）の場合

➡ 「ハイベースNEO-R工法 Ds割増不要型式を使った建物の設計フロー」(P.20 図1 参照)に基づき検討を行ってください。

保有水平耐力の確認方法^{※3}
1階Dsの割増不要^{※4}、 $Qu \geq 1.1 \times Qun$

純ラーメン構造（BCX、BSX、GHX 弱軸方向、EHX 弱軸方向）およびブレース構造の場合

➡ 「2025年版 建築物の構造関係技術基準解説書 付図 1.2-25 露出型柱脚を使った建築物の計算ルート別の設計フロー」(P.20 図2 参照)に基づき検討を行ってください。

保有水平耐力の確認方法^{※3}
1階Dsを0.05割増、 $Qu \geq Qun$

Qu : 1階の保有水平耐力、Qun : 1階の必要保有水平耐力

表2. ハイベース NEO-R 工法 構造別保有水平耐力の確認方法

建築物の構造	柱形状	型式	ベースプレート方向	P20設計フロー ^⑩ 保有水平耐力の確認方法	
				右記以外	柱及びはりの部材群としての種別がDの場合
純ラーメン構造	角形鋼管柱	EBX、GBX	—	1階Dsの割増不要 $Qu \geq 1.1 \times Qun$	1階Dsの割増不要 $Qu \geq Qun$
	円形鋼管柱	EMX、GMX	—		
	H形柱	EHX、GHX	強軸方向	1階Dsを0.05割増 $Qu \geq Qun$	
			弱軸方向		
ブレース構造	角形鋼管柱	BCX、BSX	—	1階Dsを0.05割増 $Qu \geq Qun$	
	角形鋼管柱	EBX、GBX	—		
	円形鋼管柱	EMX、GMX	—		
	H形柱	EHX、GHX	強軸方向		
			弱軸方向		
角形鋼管柱	BCX、BSX	—			

※Qu : 1階の保有水平耐力、Qun : 1階の必要保有水平耐力

※1 Ds割増し不要型式はEBX、GBX、EMX、GMX、GHX強軸方向、EHX強軸方向です（GHX、EHXは強軸弱軸でDs割増の要否が異なります。）。

※2 構造の判定は、柱脚のある層において、構造計算時の荷重方向に配置されるブレースの有無で判断します。なお、柱脚のある層以外に配置されるブレースは考慮しません（建築物の構造判定の一例はハイベースNEO-R工法設計ハンドブックP.20 図3.3 参照）。

※3 柱及びはりの部材群としての種別がDの場合はP.19 表2. ハイベースNEO-R 工法 構造別保有水平耐力の確認方法によります。

※4 本工法を使用する層を示します。



警告

・1階Dsの割増が必要な柱脚（EHX弱軸、GHX弱軸、BSX、BCX型式、在来柱脚等）と不要な柱脚（EBX、GBX、EMX、GMX型式、EHX強軸、GHX強軸）が同一の層に混在する場合は、1階Dsの割増が必要です。この場合の1階とは柱脚の存在する層をさします。

ハイベース NEO-R 工法の設計

ハイベース NEO-R 工法の設計

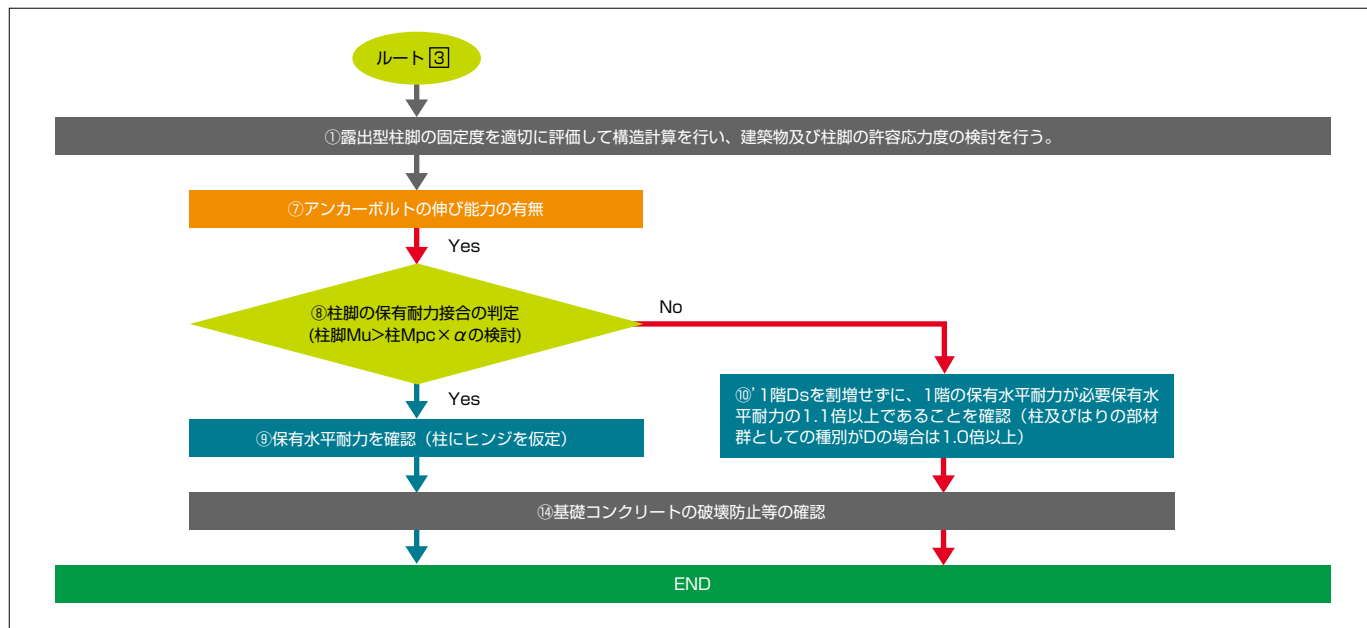


図 1. ハイベース NEO-R 工法 Ds 割増し不要型式を使った建物の設計フロー（ルート③、純ラーメン構造の場合）

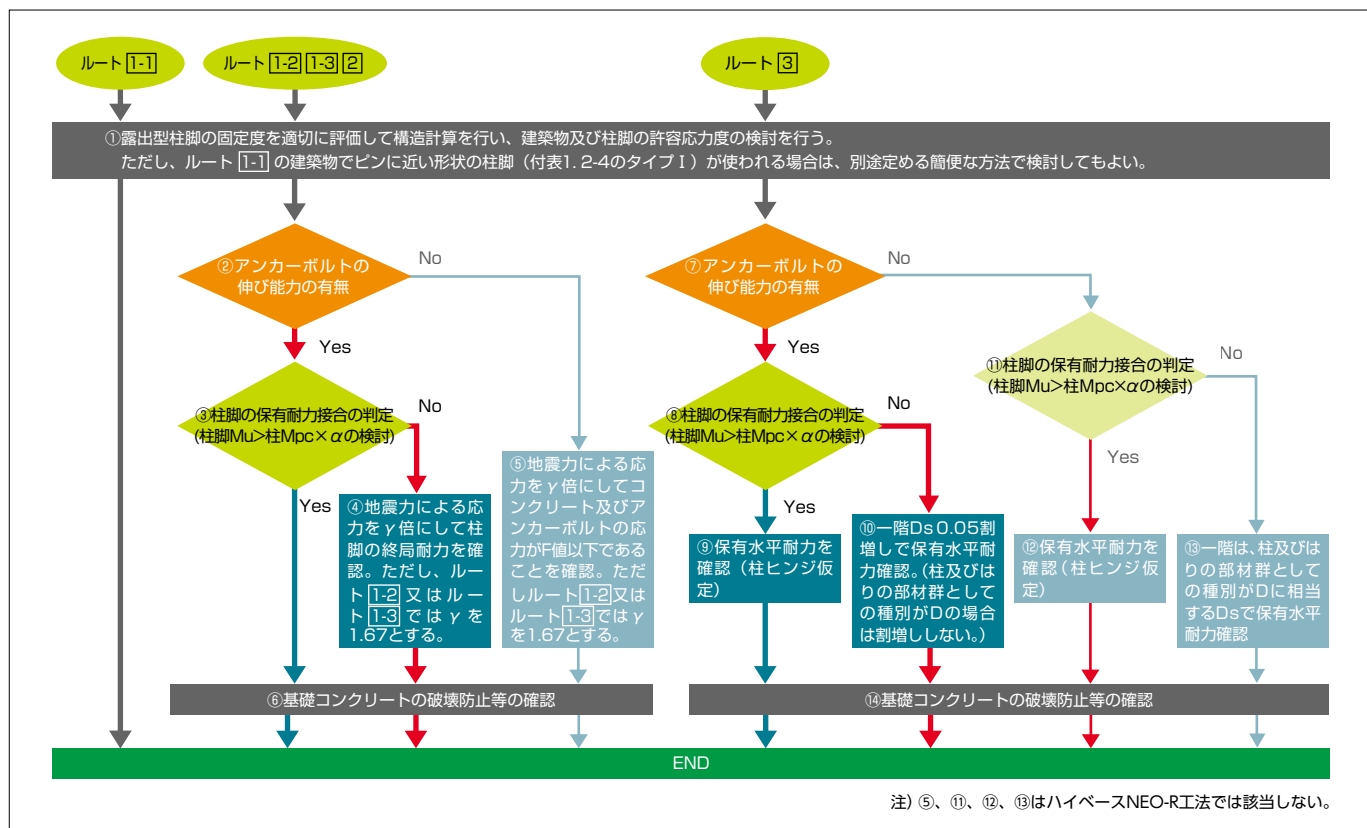


図 2. 「2025 年版建築物の構造関係技術基準解説書 付図 1.2-25 露出型柱脚を使った建築物の計算ルート別の設計フロー」に則して表したハイベース NEO-R 工法 Ds 割増し不要型式以外を使った建物及びルート①-①、①-②、①-③、②及びブレース構造の設計フロー

基礎コンクリートの破壊防止：設計ハンドブックの条件で設計例に従う場合、柱脚部よりも先にコンクリートが破壊しないように検討済みのため、確認は不要です。（フロー⑥、⑭について）設計例によらない場合は各基準に従い検討を行ってください。

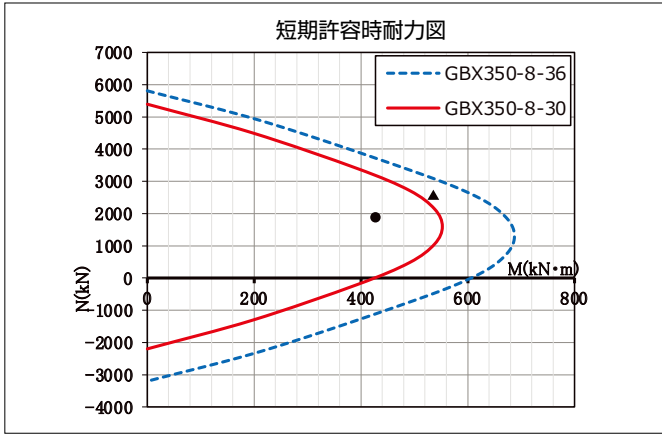
ベースプレートの破断防止：ハイベース NEO-R 工法のベースプレートは、柱脚に先行して破断することがないように各種寸法を標準化しているため、確認は不要です。

せん断破壊の防止：設計ハンドブック記載の評価方法により検討を行ってください。

構造計算支援ソフト【センクシア柱脚検討ソフト】および各社一貫構造計算ソフトで検討が可能です。

柱脚の設計

柱脚の耐力が、ハイベース NEO-R の耐力により決定される場合の設計例です。(例：型式 GBX350-8-30)



短期許容時

曲げモーメント、軸力の数値を耐力図中にプロットし、柱脚の耐力曲線に包括されるかを確認。

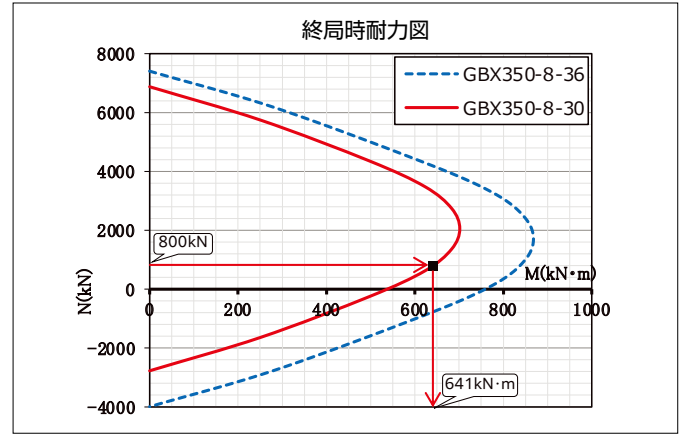
GBX350-8-30

●計算応力 ≤ ハイベース耐力 ∴ OK

▲計算応力 > ハイベース耐力 ∴ NG

⇒ NG の場合、OK となる型式

(例では GBX350-8-36) を再度選択する。



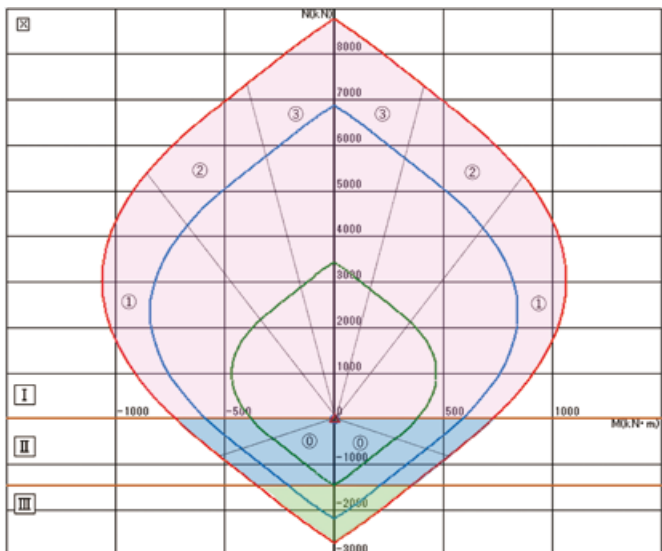
終局時

設計軸力とハイベースの耐力曲線の交点の数値で保有水平耐力の検討を行う。

■設計軸力 800kN の場合、耐力曲線と交点の曲げ耐力 641kN・m で保有水平耐力を検討。

基礎柱形的设计

基礎柱形的设计例をご用意しています。詳細は別冊的设计ハンドブックをご覧ください。



終局耐力図中、Ⅰゾーンにのみ応力がある場合はⅠゾーンの鉄筋量により基礎柱形的设计を行うことができます。

I・II・IIIゾーンの判定には構造計算支援ソフト【センクシア柱脚検討ソフト】にてご確認ください。

型式		柱形サイズ (b)	柱形主筋	帯筋	鉄筋の定着長さ (Lt)
GBX350-8-30	Iゾーン	730	12-D22 (SD345)	D13@150 (SD295)	470
	IIゾーン	730	16-D22 (SD345)	D13@150 (SD295)	
	IIIゾーン	730	20-D22 (SD345)	D13@150 (SD295)	

*本基礎柱形設計例以外の柱形サイズ、鉄筋仕様についても【センクシア柱脚検討ソフト】にて確認可能です。
【センクシア柱脚検討ソフト】にない柱形仕様については弊社へお問い合わせください。

これによらない場合には、「鉄筋コンクリート構造計算規準・同解説」や「2025年版建築物の構造関係技術基準解説書」等に準拠し、設計してください。

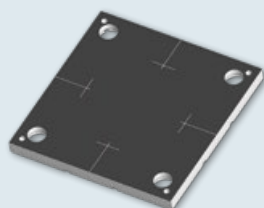
ハイベース NEO-R 工法の設計

適用可能な構造種別およびベースプレートの形状

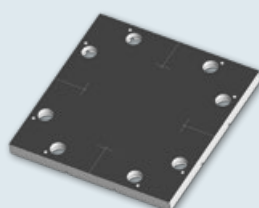
構造種別	ハイベースの種類		
	エコタイプ	Gタイプ	偏心タイプ
鉄骨 (S) 造	○	○	○
鋼管コンクリート (CFT) 造	○	○	○

1 角形鋼管柱用 (EBX、GBX 型式)

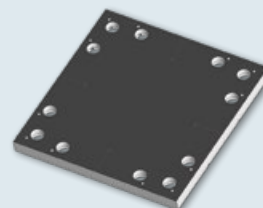
エコタイプ
(EBX 型式)



4 本ボルトタイプ

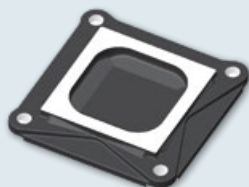


8 本ボルトタイプ

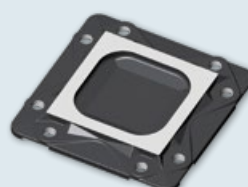


12 本ボルトタイプ

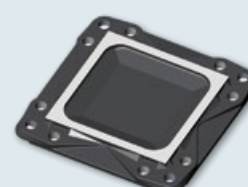
Gタイプ
(GBX 型式)



4 本ボルトタイプ



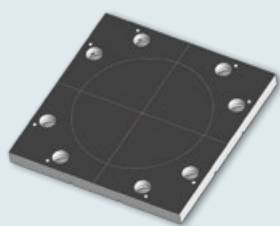
8 本ボルトタイプ



12 本ボルトタイプ

2 円形鋼管柱用 (EMX、GMX 型式)

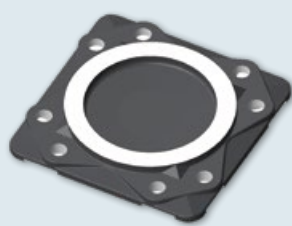
エコタイプ (EMX 型式)



8 本ボルトタイプ

※EMX型式は4本ボルトタイプもあります。

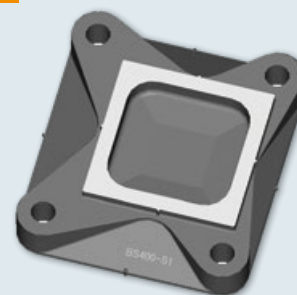
Gタイプ (GMX 型式)



8 本ボルトタイプ

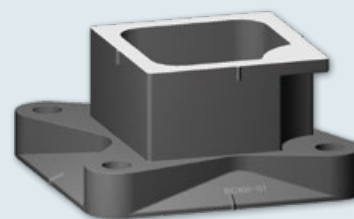
4 偏心タイプ (BSX、BCX 型式)

一方向偏心タイプ
(BSX 型式)



(側柱用)

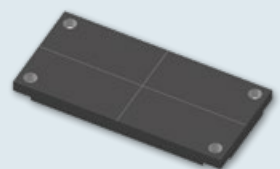
二方向偏心タイプ
(BCX 型式)



(隅柱用)

3 H形柱用 (EHX、GHX 型式)

エコタイプ (EHX 型式)



Gタイプ (GHX 型式)

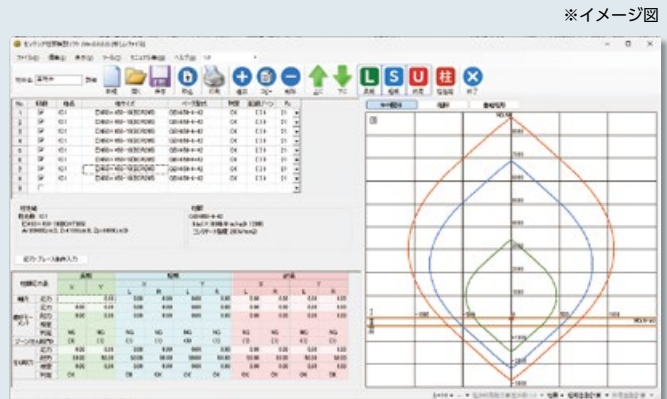


※上記CG図はイメージ図です。実際の商品とは異なる場合があります。

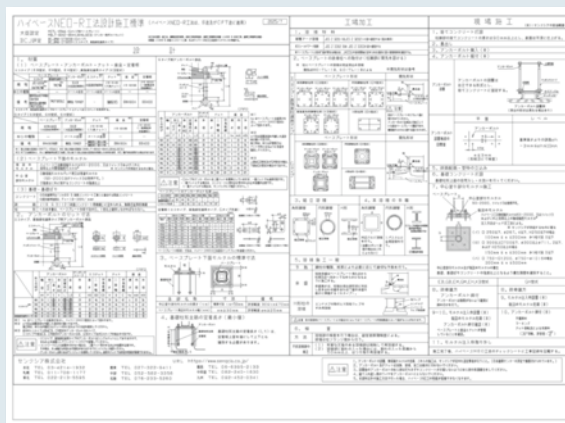
設計支援資料

1 構造計算支援ソフト【センクシア柱脚検討ソフト（Windows版）】

ハイベース NEO-R 工法の設計検討において、柱脚応力を入力することにより、耐力チェック、鉄筋量の判定（Ⅰ・Ⅱ・Ⅲゾーン）ができます。



2 設計施工標準図【設計図書添付用】



ハイベース NEO-R 工法設計施工標準図

3 ダウンロードサービス

<https://www.senqcia.co.jp/download/>

上記を含む各種資料は、弊社 Web サイトからダウンロードできます。



注意

各資料は予告なく変更することがあります。最新版は弊社Webサイトに掲載しておりますのでご確認ください。

ハイベース NEO-R 工法の施工

施工手順

1 ①～⑥アンカーボルトの設置例

① アンカーボルト・部品



② 架台の取り付け



③ アンカーボルトの組み立て



④ 形板の取り付け



⑤ アンカーボルトの芯出し



⑥ 設置完了



2 配筋



3 基礎コンクリート打設完了



4 アンカーボルト締め付け



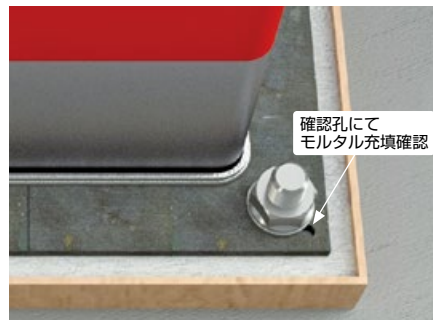
5 モルタル注入



6 モルタル注入完了



※ モルタル充填確認



※EBX、EMX型式のみとなります。

⚠ 注意

上記は標準的な施工例です。現場の状況等により、上記以外の施工方法となる場合があります。

施工範囲と管理項目

センクシアの担当範囲	元請様の担当範囲	⚠注意 管理項目・確認および注意事項						
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #0056b3; color: white; text-align: center;">工事打合せ</div>								
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #0056b3; color: white; text-align: center;">1 捨てコンクリート打設</div>		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>1</p> <ul style="list-style-type: none"> ハイベース据え付け部（基礎柱形の大きさ程度）は、捨てコンの厚さを90mm以上確保してください。 捨てコンを平らにならしてください。 養生期間は2日間確保してください。 </div>						
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #0056b3; color: white; text-align: center;">2 墨出し</div>		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>2</p> <p>施工前日までに柱芯（鉄骨芯）の墨出しをお願いします。</p> </div>						
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #0056b3; color: white; text-align: center;">アンカーボルト搬入</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #0056b3; color: white; text-align: center;">3</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>3</p> <p>アンカーボルト、部材をお受け取りください。</p> </div>						
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #0056b3; color: white; text-align: center;">アンカーボルト設置</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #0056b3; color: white; text-align: center;">4</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>4</p> <p>据え付け位置、据え付け高さの精度をご確認後、工事完了書に確認印を捺印してください。</p> </div>						
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #0056b3; color: white; text-align: center;">5 鉄筋配筋・型枠の建て込み</div>		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>5</p> <ul style="list-style-type: none"> 形板は、取り外さないでください。 形板の上に乗らないでください。 ナットを緩めたり、アンカーフレームを溶断しないでください。 アンカーボルト、アンカーフレーム、形板に、鉄筋・スパーサー等を結束しないでください。 </div>						
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #0056b3; color: white; text-align: center;">6 基礎コンクリート打設</div>		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>6</p> <ul style="list-style-type: none"> 基礎コンクリート打設後、アンカーボルト据え付け位置の精度をご確認ください。 形板の上に乗らないでください。 柱形部分のコンクリートの打設は、横打ちにならないように、柱中心部真上から打設ください。 アンカーボルトにパイプレータを接触させないでください。 <p>基礎コンクリート打設後、アンカーボルト芯と本墨との確認をしてください。</p> </div>						
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #0056b3; color: white; text-align: center;">7 中心塗り部分モルタル施工</div>		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>7</p> <ul style="list-style-type: none"> モルタル部の各寸法をご確認ください。 中心塗り部分モルタル厚さ：標準は50mm 中心塗り部分モルタルの大きさ：a <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td style="padding: 2px;">□250以下、φ267.4以下、H250以下の場合</td> <td style="padding: 2px;">100mm ≤ a ≤ 200mm かつ柱寸法D以下</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">□300～□700、φ300～φ711.2、H250以上の場合</td> <td style="padding: 2px;">150mm ≤ a ≤ 300mm かつ柱寸法D以下</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">□750以上、φ750以上の場合</td> <td style="padding: 2px;">300mm ≤ a ≤ 500mm</td> </tr> </table> </div>	□250以下、φ267.4以下、H250以下の場合	100mm ≤ a ≤ 200mm かつ柱寸法D以下	□300～□700、φ300～φ711.2、H250以上の場合	150mm ≤ a ≤ 300mm かつ柱寸法D以下	□750以上、φ750以上の場合	300mm ≤ a ≤ 500mm
□250以下、φ267.4以下、H250以下の場合	100mm ≤ a ≤ 200mm かつ柱寸法D以下							
□300～□700、φ300～φ711.2、H250以上の場合	150mm ≤ a ≤ 300mm かつ柱寸法D以下							
□750以上、φ750以上の場合	300mm ≤ a ≤ 500mm							
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #0056b3; color: white; text-align: center;">8 鉄骨建方・アンカーボルト締め付け*</div>		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>8</p> <ul style="list-style-type: none"> 柱形コンクリート天端の清掃をお願いします。 アンカーボルトは隙間がないように確実に締め付けを行ってください。 <p><small>※偏心タイプのアンカーボルト締め付けについては、センクシアの施工範囲となります。（ナット回転法30°許容+10°、-0°）</small></p> </div>						
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #0056b3; color: white; text-align: center;">アンカーボルトの締め付け確認 モルタル注入枠設置 後詰め無収縮モルタル注入*</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #0056b3; color: white; text-align: center;">9</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>9</p> <ul style="list-style-type: none"> 水道水をご用意ください。 ベースプレート縁から30mm以上のへりあきが必要です。 ベースプレートと座金が密着していることを確認します。 モルタル注入高さは施工チェックシートに基づきます。 EBX、EMX 型式は確認孔でモルタル充填を確認します。 <p><small>※偏心タイプのアンカーボルト本締めについては、適正なモルタル養生期間をおこなっています。（NX-2000:3日間、クイック3:3時間）</small></p> </div>						
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #0056b3; color: white; text-align: center;">10 モルタル注入枠取り外し</div>		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>10</p> <p>モルタル注入後、24時間以上経過してから取り外してください。</p> </div>						
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #0056b3; color: white; text-align: center;">施工チェックシートの提出</div>								

⚠ 注意

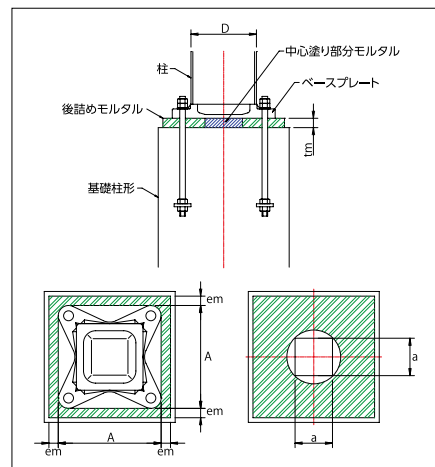
- アンカーボルトに取り付けられているアンボンドスリーブを取り外さないでください。
- 設置後のアンカーボルトのねじ部は打ちきずやコンクリートが付着しないように**ねじ部の保護養生**をしてください。建方時にナットが締め付けられないことがあります。

⚠ 警告

- ハイベースNEO-R工法のアンカーボルト設置工事にあたっては設計図書添付用の「ハイベースNEO-R工法設計施工標準」を参照して実施してください。
- アンカーボルト設置の現場施工は、**センクシアの認定施工業者**が行います。
- アンカーボルトおよびナットは、加熱・溶接・加工は絶対に行わないでください。所定の性能が発揮できず、地震時に破断・倒壊のおそれがあります。
- 建て入れ直し用のワイヤーをアンカーボルトにとらないでください。
- 後詰めモルタルは必ず指定された**無収縮性のモルタル**を使用します。（後詰め無収縮モルタルの注入は**センクシアの認定施工業者**が行います）

ベースプレート下面モルタルの標準寸法・仕様

各部の名称	寸法	備考
中心塗り部分モルタル厚さ：tm	標準寸法tm：50mm	許容範囲 30mm ≤ tm ≤ 70mm
ベースプレート周辺のモルタル幅：em	em ≥ 30mm	許容範囲 em ≥ 25mm
中心塗り部分モルタル：a	<ul style="list-style-type: none"> □250以下、φ267.4以下、H250以下の場合 100mm ≤ a ≤ 200mm かつ柱寸法D以下 □300以上□700以下、 φ300以上φ711.2以下、H250以上の場合 150mm ≤ a ≤ 300mm かつ柱寸法D以下 □750以上、φ750以上の場合 300mm ≤ a ≤ 500mm 	使用材料 ・無収縮モルタルパッド用（固練り）または普通モルタル 強度 ・これに接するコンクリートの強度以上
後詰めモルタル		アンカーボルト締め付けまでの養生期間は無収縮モルタル仕様による



		無収縮モルタル材	速硬型無収縮モルタル材
		NX-2000	クイック3
			
仕様	練上り温度条件*	5~35℃	5~30℃
	使用水量 (ℓ/袋) *	4.2~4.9 ℓ	4.2~4.8 ℓ
	1m ² 当りの標準使用量	1875kg(25kg×75袋)	1850kg(25kg×74袋)
	練り時間	1分30秒以上	1分30秒以上
	可使時間	約30分 (20℃)	10~20分
規格 物性	コンシステンシーの範囲 (J14ルート値)	5~10秒	
	ブリーディング率 (%)	2.0以下	
	凝結時間	始発1時間以上、終結10時間以内	始発20分以上、終結60分以内
	圧縮強度 (N/mm ²) 材令28日	45以上	50以上

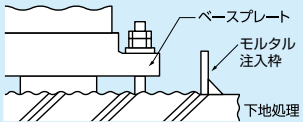
*製品梱包包装をご確認ください。

※高温時におけるクイック3の可使時間を確保するために、凝結遅延剤を用いることができます。

(1袋=25kg)


後詰めモルタル施工方法

モルタル注入枠組立



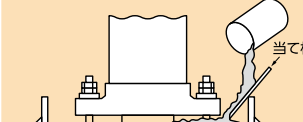
- 目荒らし・水洗いをお願いします。(元請様)
- モルタル材が、漏れないように目詰めします。

混練



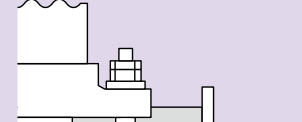
- モルタル材は、必ず機械練りします。
- 使用水量(1袋当たり)は袋に明記されています。

注入



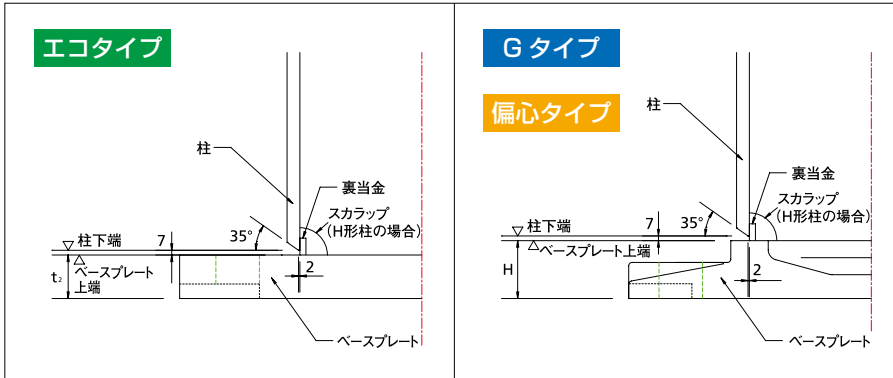
- 注入は、へりあきを確認してから、スピードをつけて行います。

仕上および養生



- 必要に応じて養生をお願いします。(元請様)

ベースプレートの鉄骨柱への取り付け



注意

エコタイプの場合、柱はベースプレートのフラット面に取り付けてください。
アンカーボルト孔周辺に凹加工している面は、ベースプレート裏面で無収縮モルタルと接する面となります。
めっき孔には規定があります。めっき孔をあける際には弊社にお問い合わせください。

溶接施工一般

	角形鋼管柱	円形鋼管柱	H形柱
組立溶接			
本溶接の手順			
予熱	鋼材の種類、板厚により必要に応じて適切な予熱を行う。		

- 柱とベースプレートの溶接は完全溶込み溶接とし、JASS6 鉄骨工事に準拠して実施してください。
- 余盛高さは、柱接合突出部形状に対応し、突合せ継手または T 継手の余盛高さに準拠してください。
- 溶接材料
 - ・被覆アーク溶接を行う場合：JIS Z 3211 (旧 JIS Z 3212) に従い選定する (低水素系)
 - ・ガスシールドアーク溶接を行う場合：JIS Z 3312 又は JIS Z 3313 に従い選定する
 ※ベースプレートと柱の F 値が異なる場合は、JASS6 や各材質毎に定められた指針に従い溶接材料を選定する。
- 溶接部の検査
 - 1) 溶接部の検査は、超音波探傷検査を行ってください。
 - 2) 探傷はフランジ側から行ってください。
- 不良溶接部の補正
 - 1) 有害な欠陥がある溶接部は削除して再溶接をしてください。
 - 2) 溶接部に割れの入った両端から 50mm 以上をはつり取り再溶接をしてください。

注意

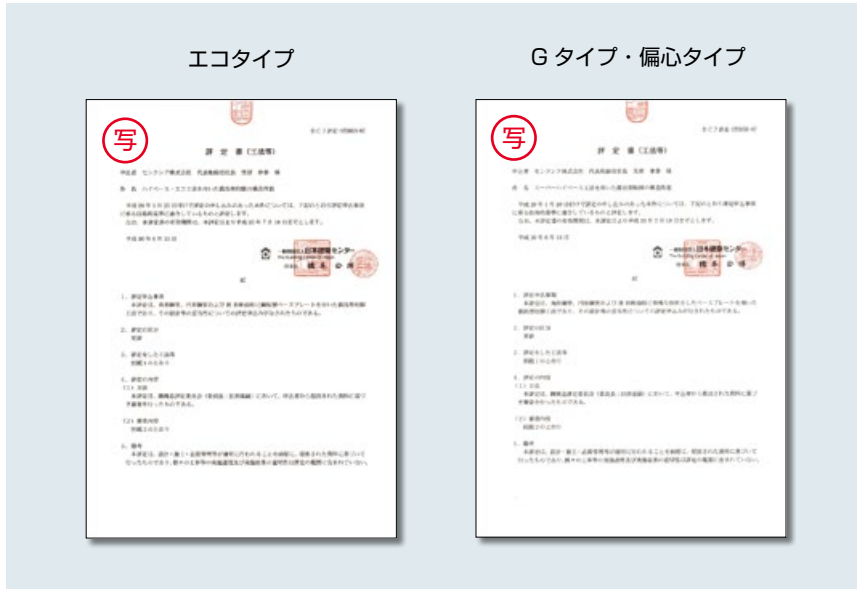
ハイベース NEO-R 工法の施工にあたっての注意点
 ・ベースプレートを柱材に取り付け加工するにあたっては設計図書添付用の「ハイベース NEO-R 工法設計施工標準」を参照してください。
 ・柱の溶接時にベースプレートとの組合せによってはベースプレートが溶接熱歪によって曲がる場合があります。

(一財)日本建築センター 評価書および国土交通大臣認定書

(一財)日本建築センター 評価書および国土交通大臣認定書の写しは弊社の Web サイトからダウンロードできます。

1 (一財)日本建築センター 評価書 (写)

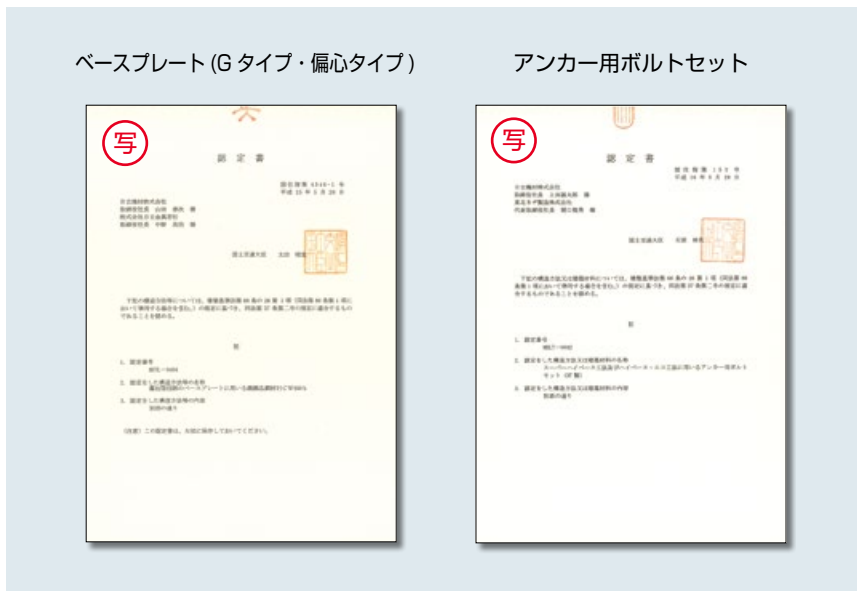
ハイベース NEO-R 工法



(一財)日本建築センター 評価取得一覧

工法	評価番号
エコタイプ	BCJ評価-ST0059
Gタイプ 偏心タイプ	BCJ評価-ST0058

2 国土交通大臣認定書 (写)



建築基準法第 37 条第二号の規定による
国土交通大臣認定取得一覧

部材	認定番号
ベースプレート (Gタイプ・偏心タイプ)	MSTL-0566
アンカー用ボルトセット	MBLT-0042~0044,0046 0228~0230

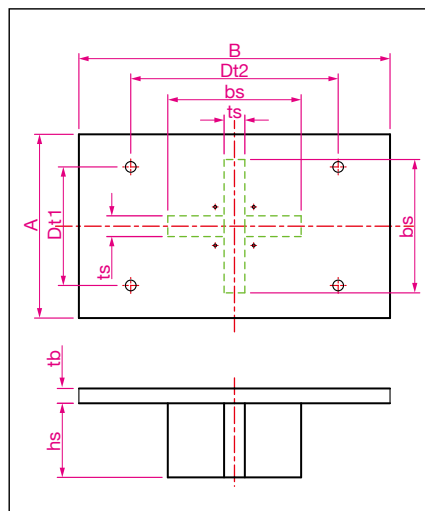
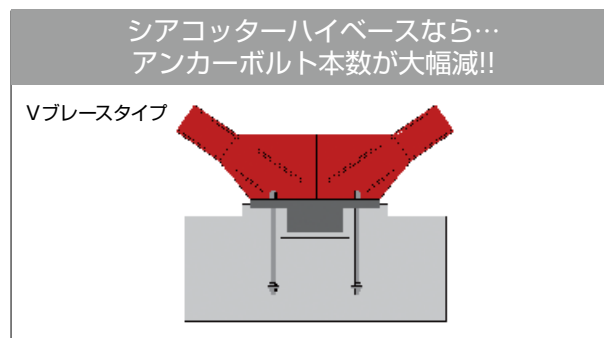
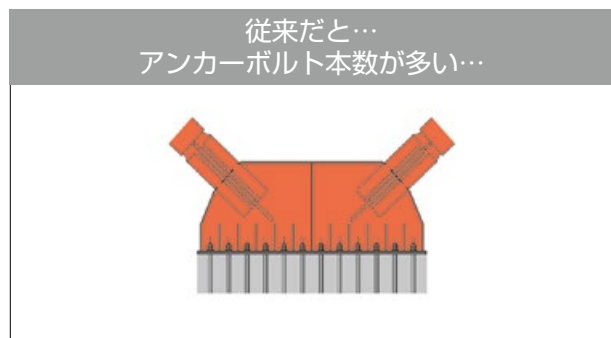
その他製品の紹介

シアコッターハイベース工法

高せん断耐力ハイベースの標準化
シアコッターハイベース工法

独自の設計法、施工方法を確立

(一財)日本建築センターの評定取得 BCJ 評定-ST0289



型式	A (mm)	B (mm)	Dt1 (mm)	Dt2 (mm)	tb (mm)	bs (mm)	hs (mm)	ts (mm)	終局せん断耐力 (kN)
SV470x850-4-24	470	850	350	500	40	350	150	50	1810
SV520x900-4-24	520	900	350	550	40	350	200	60	2597
SV570x950-4-30	570	950	400	600	50	400	250	60	2861
SV620x1050-4-30	620	1050	400	700	50	450	250	70	3753
SV670x1100-4-30	670	1100	400	700	50	500	250	80	4373
SV670x1100-4-36	670	1100	400	700	60	500	300	85	5388
SV670x1150-4-36	670	1150	450	750	60	550	300	90	5787
SV720x1200-4-36	720	1200	450	750	60	550	350	95	6905

※Fc27の場合のせん断耐力です。せん断耐力はFc、基礎梁幅等により変わります。

※上記に加え、アンカーボルト太径型式をラインナップしています。

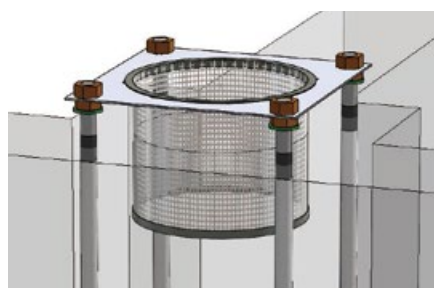
設計

柱脚部の実大実験を行い、性能を検証しています。実験結果を基に独自の設計式を構築し、BCJ評定を取得しています。



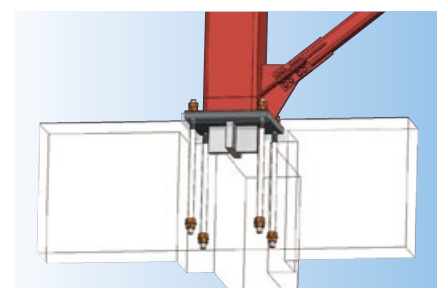
施工

シアコッターはコンクリート内部に埋め込むことで大きなせん断耐力を発揮します。シアコッターハイベースは、独自の施工方法*により柱形を箱抜きすることで、簡単にシアコッターを埋め込むことが可能です。



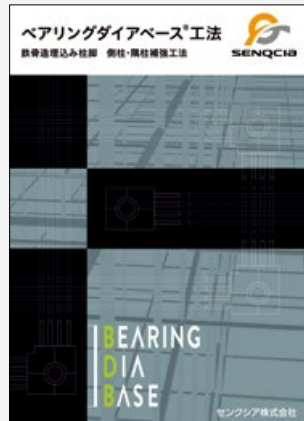
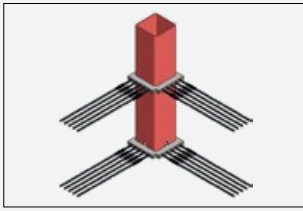
柱脚タイプも標準ラインナップ

K型ブレースにも対応可能です。

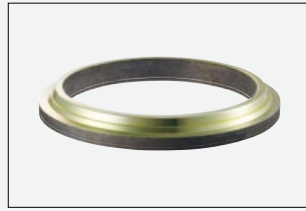


センクシア 他取扱い商品のご紹介

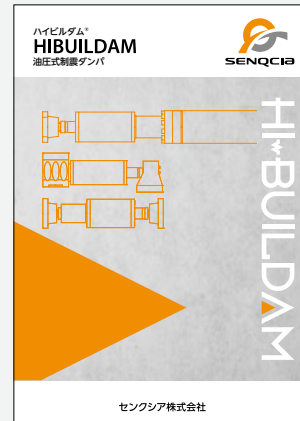
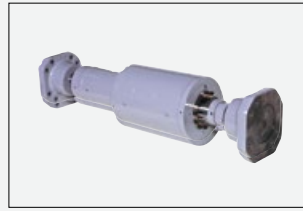
鉄骨造埋込柱脚
側柱・隅柱補強工法
ベアリングダイアベース®工法



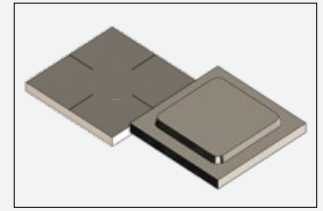
鉄骨ばり貫通孔補強工法
ハイリング®Ⅲ工法



油圧式制震ダンパ
ハイビルダム®



柱絞り通しダイアフラム工法
スマートダイア®Ⅱ工法



センクシア株式会社

●お問合せ、詳細な資料のご請求は下記の営業担当者までご用命ください。

東京支店	〒105-8319	東京都港区東新橋二丁目3番17号(モメント汐留)
		TEL.(03)4214-1932 FAX.(03)3438-1061
札幌支店	〒001-0018	札幌市北区北十八条西五丁目1番12号(3F)
		TEL.(011)708-1177 FAX.(011)708-1178
東北支店	〒980-0021	仙台市青葉区中央二丁目8番13号(大和証券仙台ビル)
		TEL.(022)213-5595 FAX.(022)213-5590
関東支店	〒370-0841	高崎市栄町16番11号(高崎イーストタワー)
		TEL.(027)322-9411 FAX.(027)322-9343
中部支店	〒450-0003	名古屋市中村区名駅南一丁目17番29号(広小路ESビル)
		TEL.(052)582-3356 FAX.(052)583-9858
北陸支店	〒920-0024	金沢市西念一丁目1番3号(コンフィデンス金沢)
		TEL.(076)233-5260 FAX.(076)233-5262
関西支店	〒532-0003	大阪市淀川区宮原三丁目4番30号(ニッセイ新大阪ビル)
		TEL.(06)6395-2133 FAX.(06)6395-2102
中四国支店	〒730-0031	広島市中区紙屋町一丁目1番20号(いよぎん広島ビル)
		TEL.(082)240-1630 FAX.(082)240-1606
九州支店	〒812-0011	福岡市博多区博多駅前三丁目26番29号(九勤博多ビル8F)
		TEL.(092)452-0341 FAX.(092)452-0350

URL <https://www.senqcia.co.jp/>
E-Mail kenzai@senqcia.com



センクシア Web サイトから最新版の CAD データおよび
検討プログラムを無償でダウンロードしていただけます。